

○アンケート調査結果

ア. 住民ニーズ

- (1)回答者の属性
- (2)町の情報通信の現状
- (3)防災情報の収集
- (4)テレビ放送受信
- (5)携帯電話の利用
- (6)インターネットの利用
- (7)情報化への期待
- (8)ブロードバンドへのニーズ

イ. 高齢者のニーズ

- (1)回答者の属性
- (2)町の情報通信の現状
- (3)防災情報の収集
- (4)テレビ放送受信
- (5)携帯電話の利用
- (6)インターネットの利用
- (7)情報化への期待
- (8)ブロードバンドへのニーズ

ウ. 企業ニーズ

- (1)回答企業の属性
- (2)企業の情報通信環境
- (3)町の情報化へのニーズ

エ. 小中学生のニーズ

- (1)回答者の属性
- (2)インターネットの利用と認知度
- (3)家庭の情報環境
- (4)インターネット利用へのニーズ

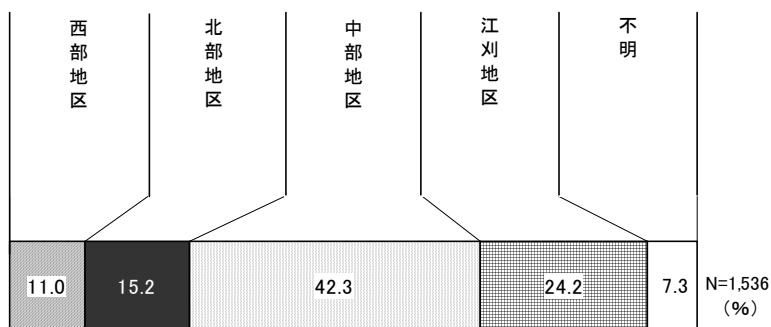
オ. 高校生のニーズ

- (1)回答者の属性
- (2)インターネットの利用と認知度
- (3)家庭の情報環境
- (4)インターネット利用へのニーズ

【住民ニーズ】

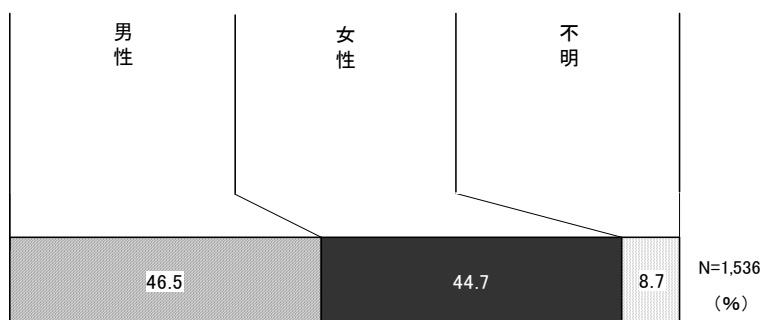
問1. 回答者の属性

(1) 居住地区（択一回答）



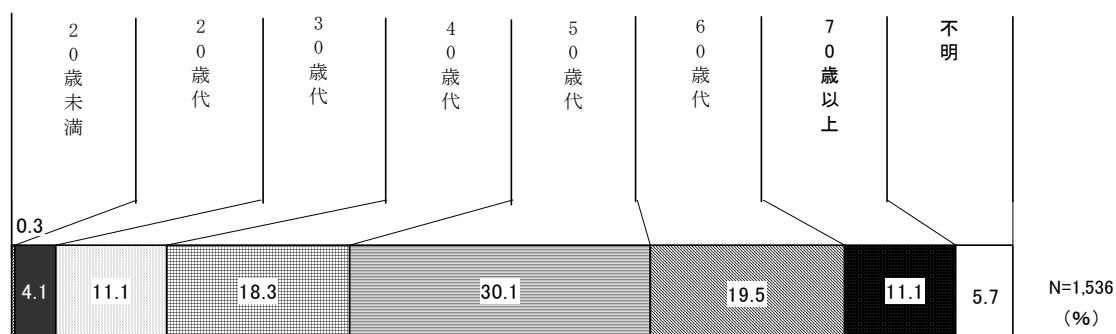
(2) 性別（択一回答）

男女の割合については、ほぼ半々となっており、地区別での大きな違いは見られない。



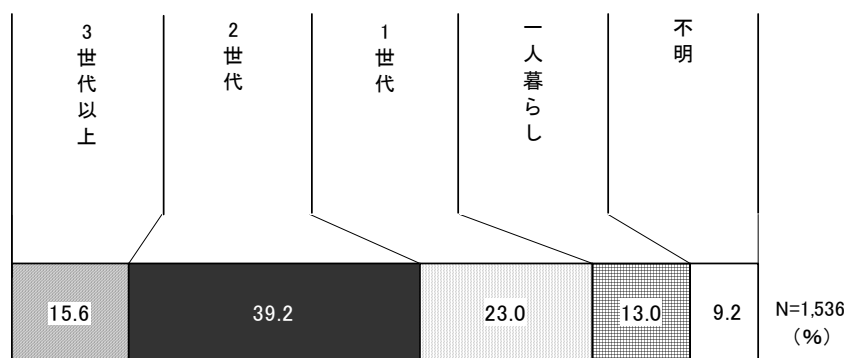
(3) 年代（択一回答）

50代が最も多く、30.1%を占めているほか、60歳以上の高齢者が36.3%となっており高齢者の割合が高くなっている。



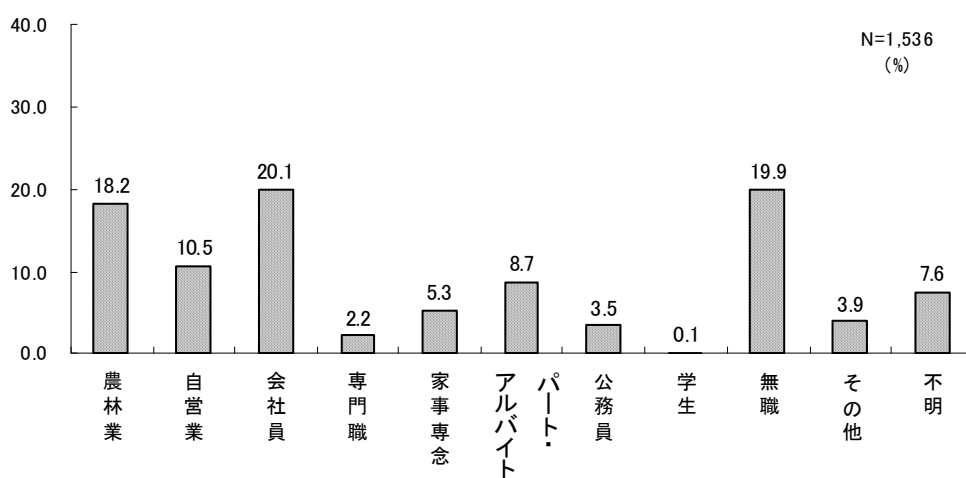
(4) 家族構成 (択一回答)

家族構成については、2世代が最も多く39.2%であり、次いで1世代 (23.0%)、3世代(15.6%)になっている。



(5) 職業 (択一回答)

職業については、「会社員」(20.1%)が最も多く、以下「農林業」(18.2%)、「自営業」(10.5%)と続いている。



無職が19.9%と約2割になっているが、年代別の分布については下表の通りである。

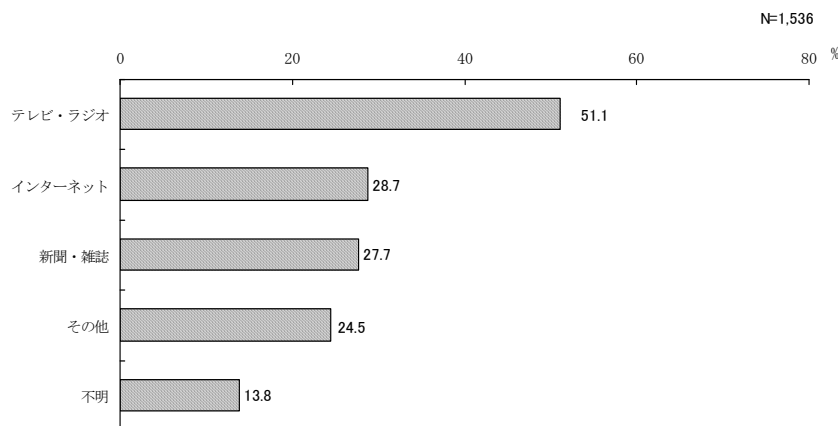
(単位：%)

	調査数 (n)	農 林 業	自 営 業	会 社 員	専 門 職	家 事 専 念	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	公 務 員	学 生	無 職	そ の 他	不 明
20歳未満	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	63	9.5	6.3	34.9	7.9	12.7	7.9	4.8	0.0	9.5	4.8	1.6
30歳代	170	12.4	7.1	31.2	4.1	7.6	15.3	8.8	0.0	7.1	4.1	2.4
40歳代	281	18.1	10.7	32.0	3.2	5.7	15.3	2.5	0.0	6.4	3.6	2.5
50歳代	462	22.7	12.3	24.7	2.4	5.4	8.4	5.8	0.0	11.3	5.0	1.9
60歳代	299	24.7	13.0	8.4	0.7	4.7	6.4	0.0	0.0	35.8	4.3	2.0
70歳以上	170	12.9	11.8	1.8	0.0	3.5	0.0	0.6	0.0	63.5	2.4	3.5

問2. 町の情報通信の現状について

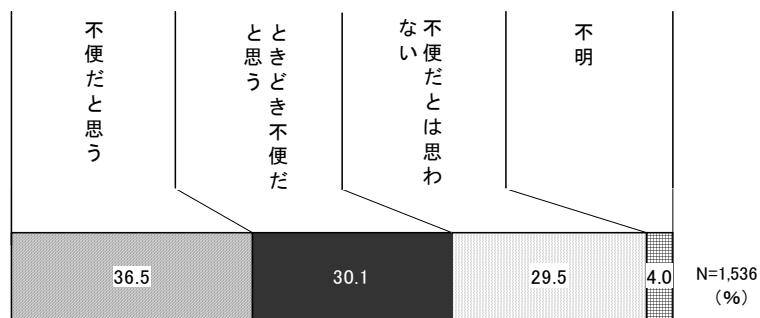
(1) 情報収集先(複数回答)

「テレビ・ラジオ」が過半数を占め、次いで「インターネット」(28.7%)、「新聞・雑誌」(27.7%)となっている。



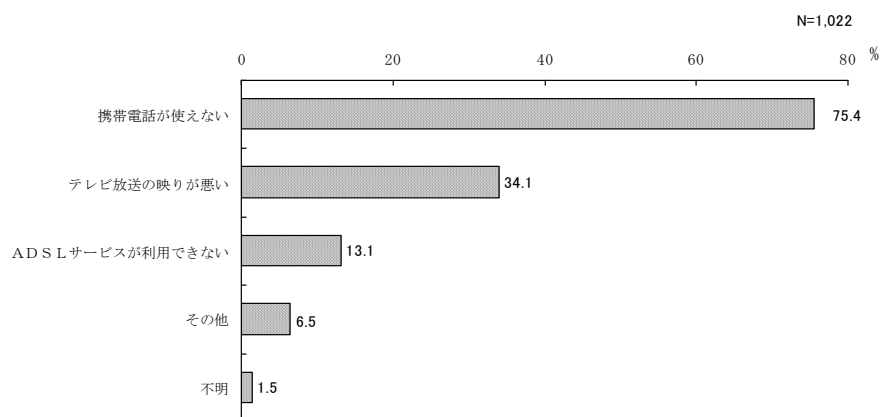
(2) 町内での情報通信について(択一回答)

「不便だと思う」(36.5%)、「ときどき不便だと思う」(30.1%)と、不便を感じている割合を合わせると、約6割を超えている。



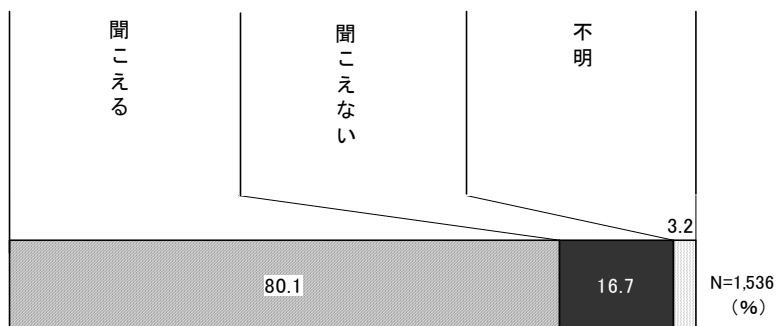
(3) 情報通信の利用にあたって不便な点（複数回答）

「携帯電話が使えない」が最も多く、75.4%を占め、次いで「テレビの映りが悪い」（34.1%）、「ADSLサービスが利用できない」（13.1%）が続く。

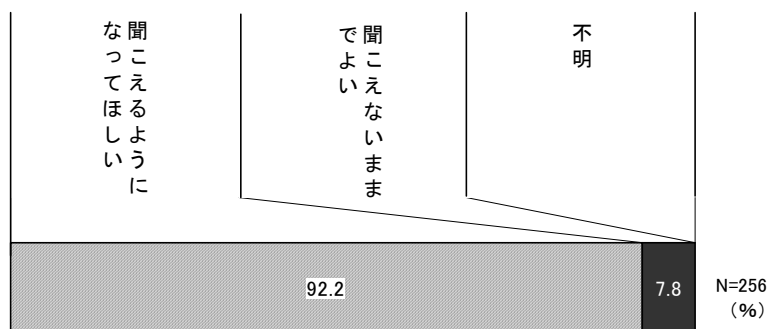


問3. 防災情報について

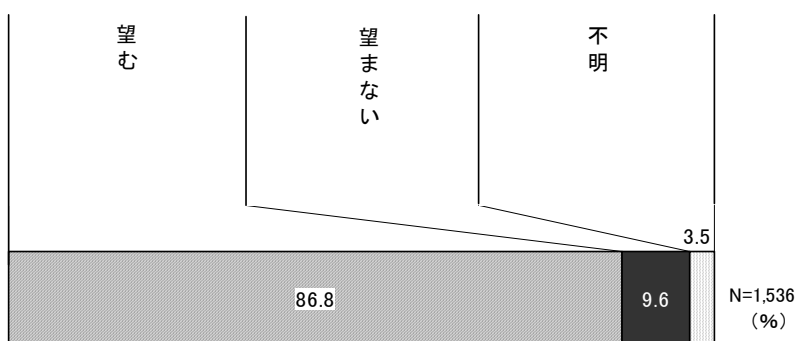
(1) 自宅周辺で「災害用サイレン」や「メロディチャイム」は聞こえるか (択一回答)



(2) 聞こえるようになったほうがよいか ((1)で「聞こえない」と答えた人に) (択一回答)

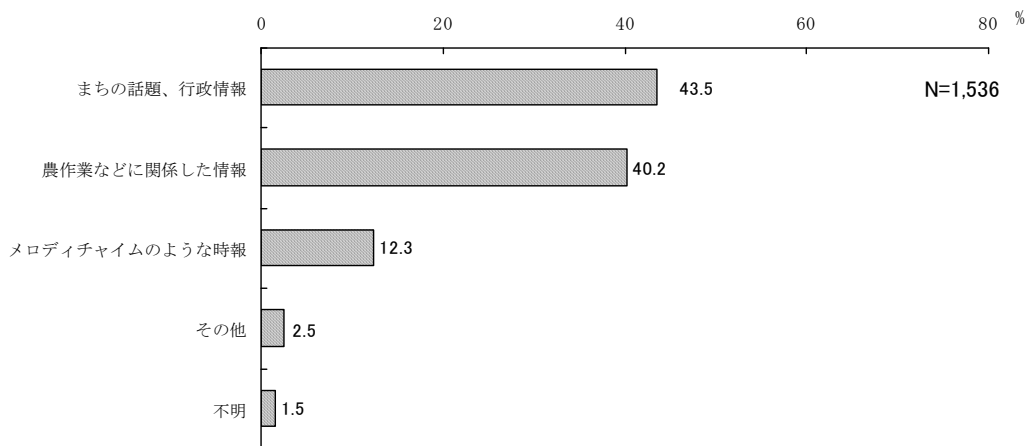


(3) 防災情報がメロディチャイムのように屋外で音声放送されることを望むか (択一回答)



(4) 防災情報のほかにそのような情報が放送されることを望むか（択一回答）

最も多いのが「町の話題、行政情報」となっており、次いで「農作業などに関係した情報」（40.2%）、「メロディチャイムのような情報」（12.3%）が続く。



単位: (%)

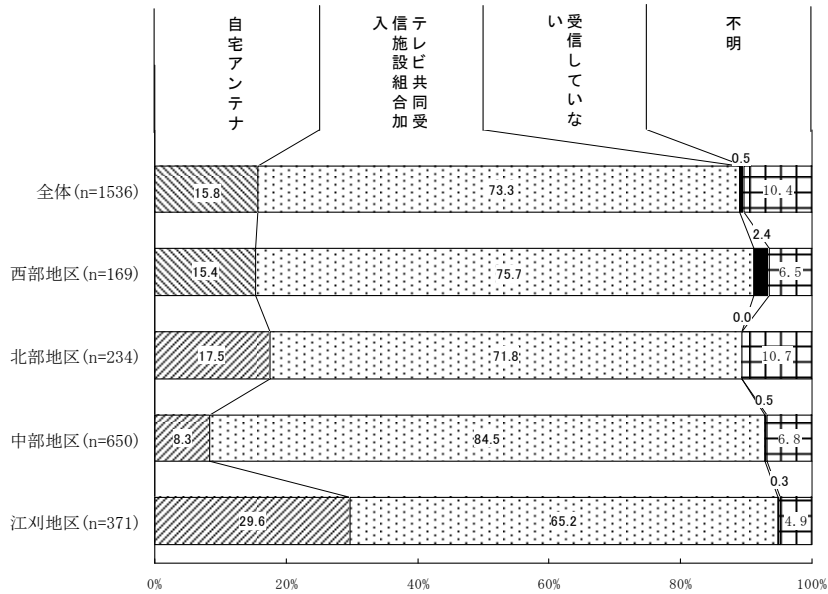
		調査数 (N)	まちの話題、行政情報	農作業などに関係した情報	メロディチャイムのような情報	その他	不明
全 体		1,334	43.5	40.2	12.3	2.5	1.5
年 代 別	20歳未満	4	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	20歳代	55	41.8	41.8	7.3	7.3	1.8
	30歳代	154	37.7	31.8	20.1	9.1	1.3
	40歳代	253	42.7	41.1	11.5	3.2	1.6
	50歳代	422	42.4	44.8	10.7	0.5	1.7
	60歳代	271	52.0	37.3	8.5	1.5	0.7
	70歳以上	142	38.7	40.8	17.6	0.7	2.1

問4. テレビ放送について

(1) テレビの受信方法 (択一回答)

組合による共同受信が最も多く、約7割となっている。

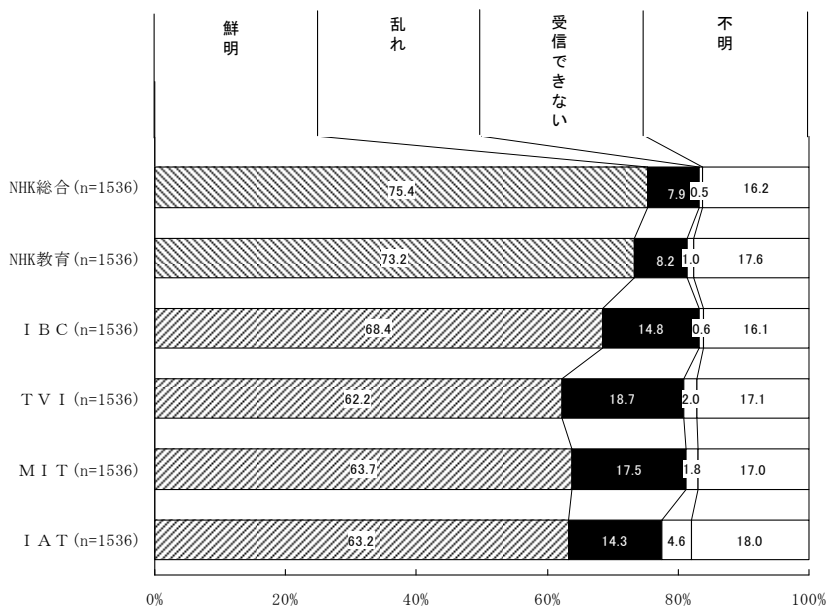
地区別で見ると、「中部地区」で共同受信組合加入による受信の割合が高く(84.5%)、最も加入率が低いのが、「江刈地区」(65.2%)となっている。



(2) テレビ放送の受信状況 (択一回答)

最も「鮮明」と答えた割合が多いのが「NHK総合」(75.4%)となっており、次いで「NHK教育」(73.2%)となっている。

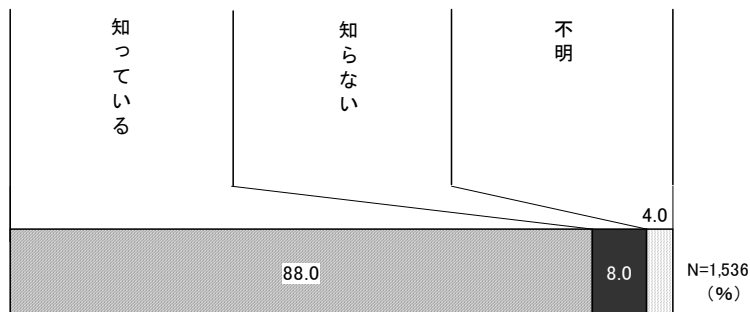
「TVI」、「MIT」、「IAT」で、鮮明に映ると答えた割合が約6割と低くなっている。



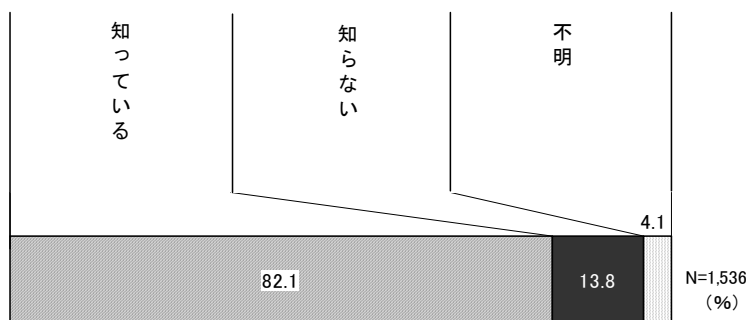
問5. 地上デジタル放送について

(1) 現在のアナログ放送が終了となることを知っているか (択一回答)

「知っている」が、約9割となっている。



(2) 地上デジタル放送を視聴するにあたって、専用のチューナーが必要となることを知っているか (択一回答)

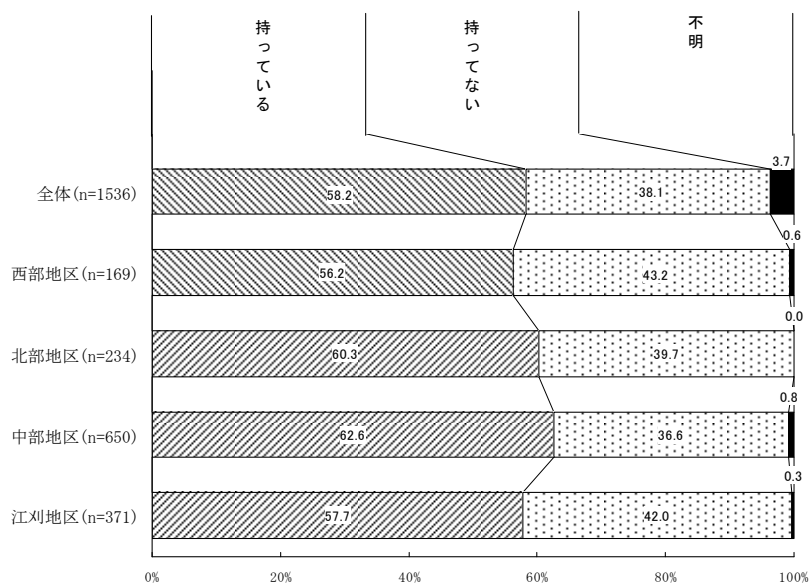


問6. 携帯電話について

(1) 携帯電話を持っているか (択一回答)

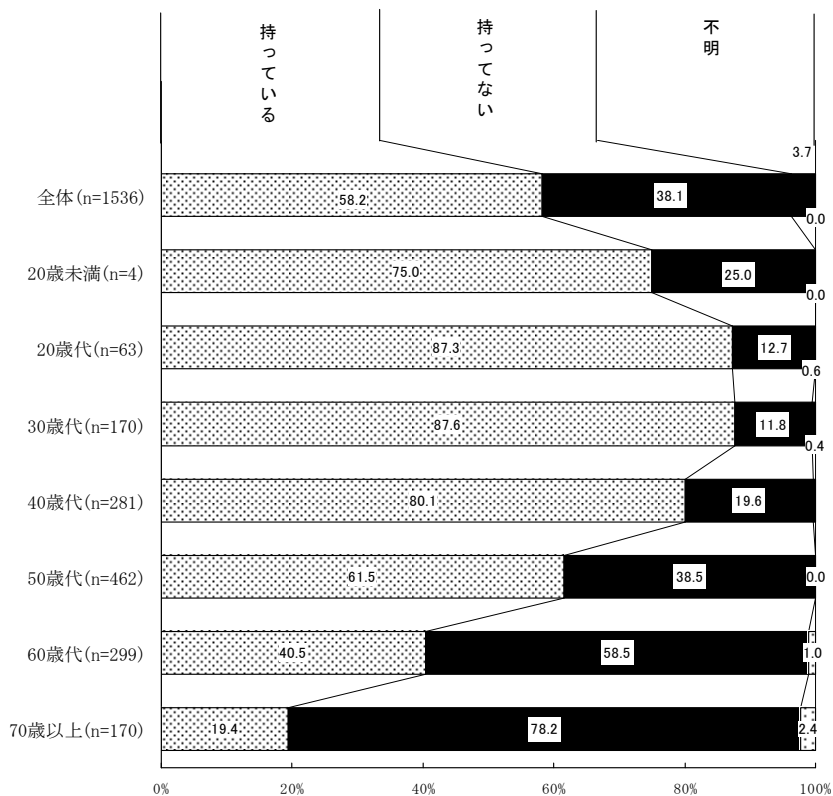
全体では「持っている」が約6割となっており、地区別での大きな違いは見られない。

【地区別クロス集計】



【年代別クロス集計】

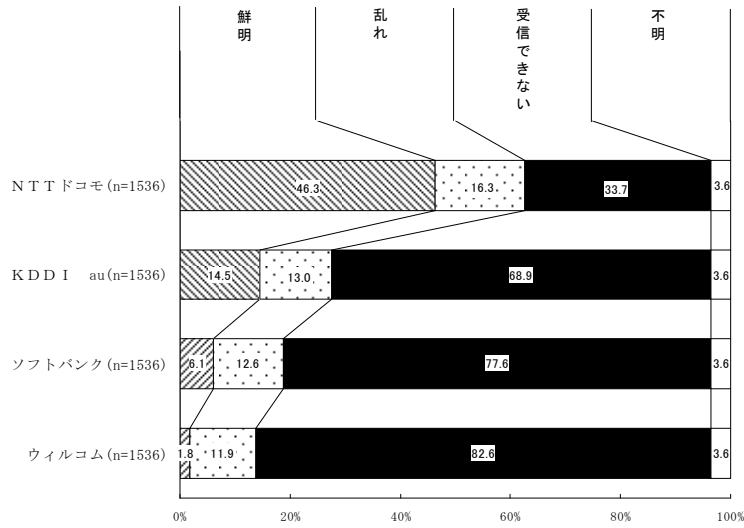
最も所有率が高いのが「30歳代」(87.6%)となっており、次いで「20歳代」(87.3%)、
「40歳代」(80.1%)となっており、働く世代を中心に所有率は約8割を超えている。



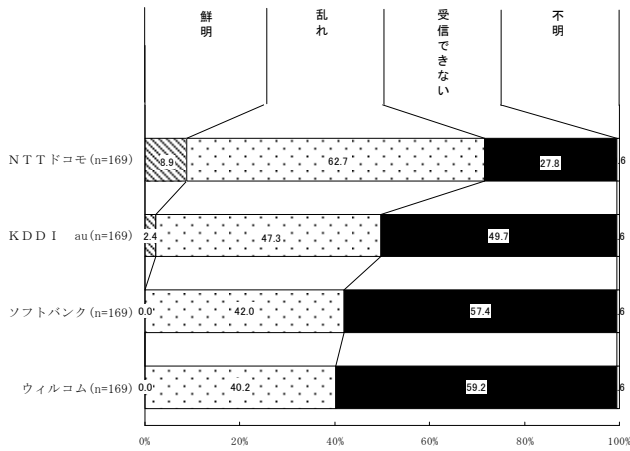
(2) 自宅周辺での携帯電話の利用状況 (択一回答)

「NTTドコモ」で「鮮明」が48.3%となったほかは、「鮮明」に通話できる割合が2割に満たない。

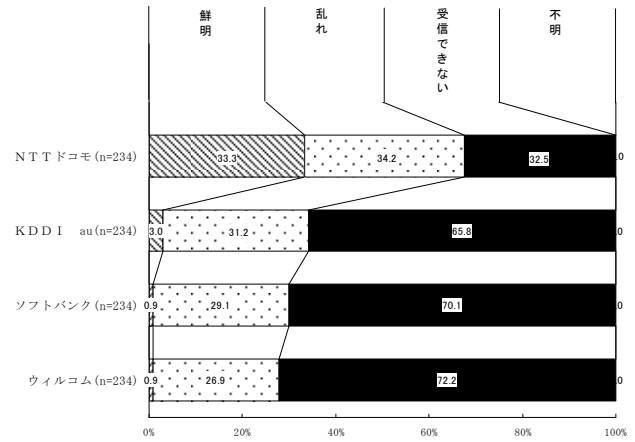
【全体】



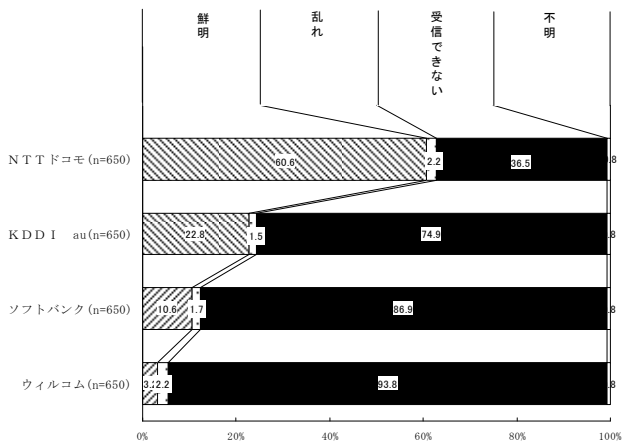
【西部地区】



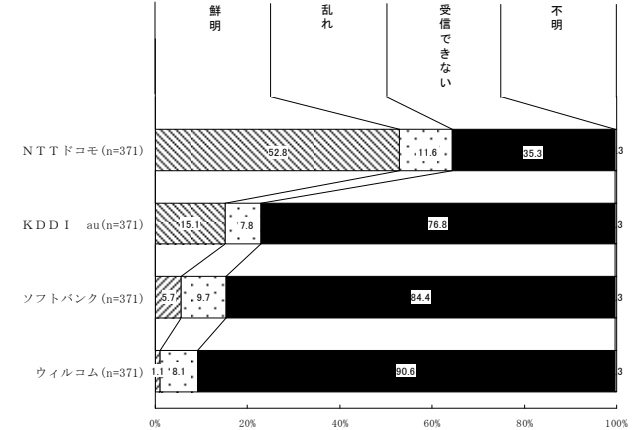
【北部地区】



【中部地区】

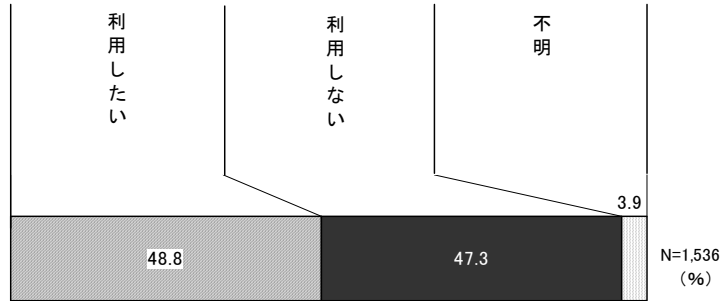


【江川地区】



(3) メール機能による役場からの情報配信サービスを利用するか（択一回答）

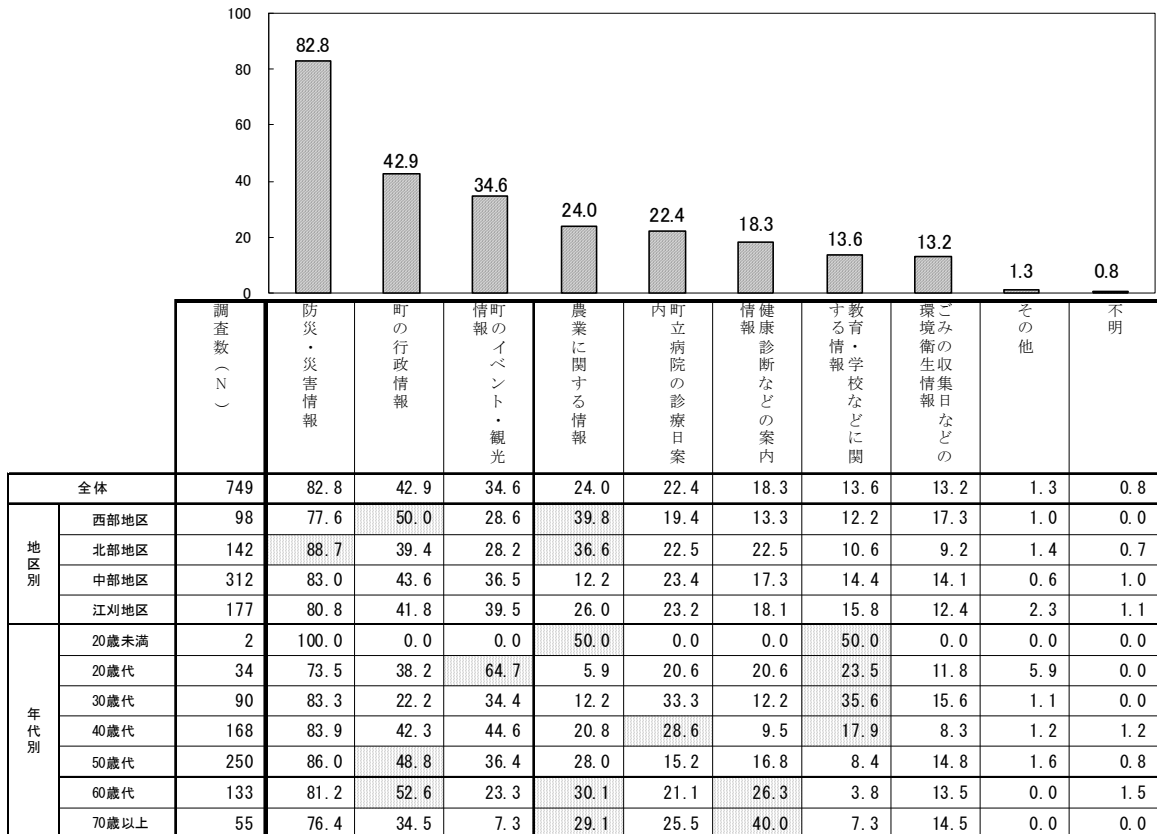
「利用したい」「利用しない」の割合が約半数に分かれる。



(4) 配信してほしい情報（(3)で「配信してほしい」と答えた人）（複数回答：3つまで）

一般世帯で「気象・防災情報の提供」（82.8%）が最も多く、次いで「町の行政情報」（42.9%）、
「町のイベント、観光情報」（34.6%）となっている。

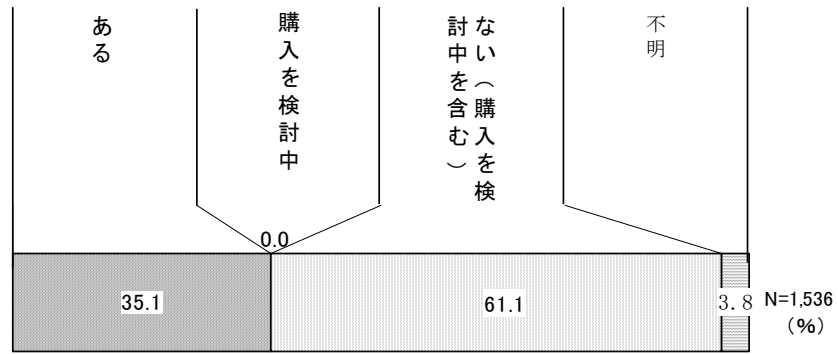
地区別では、西部・北部地区で「農業に関する情報」（39.8%、36.6%）の割合が高くなっている。年代別では、20歳代で「町のイベント、観光情報」（64.7%）、60歳代、70代以上で「健康診断などの案内情報」（26.3%、40.0%）の割合が高くなっている。



問7. パソコン・インターネットについて

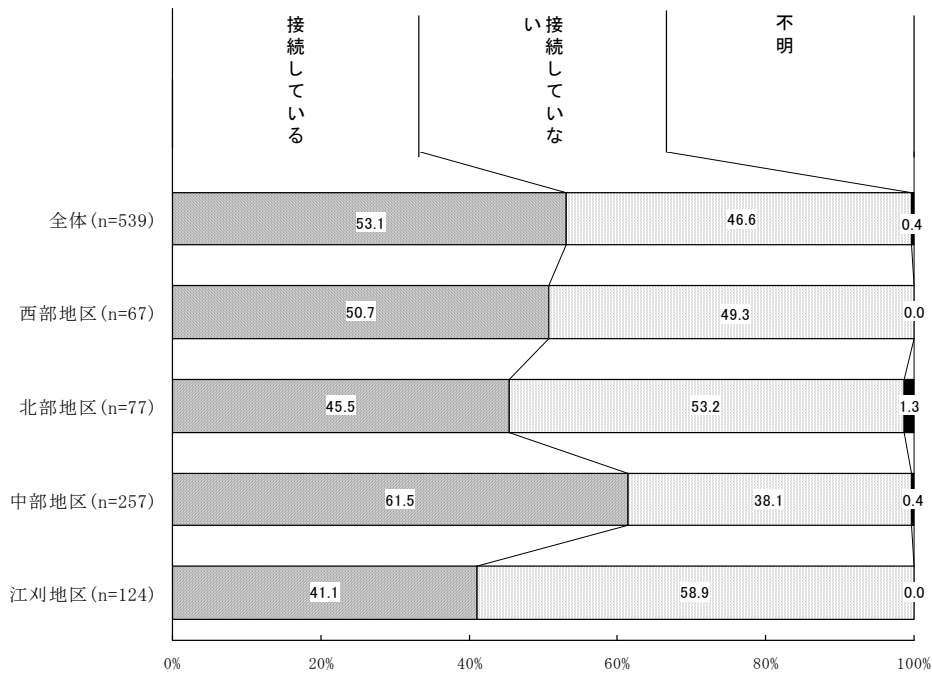
(1) 自宅でのパソコン所有 (択一回答)

「ある」が35.1%となっており、パソコンの所有率は低い。
 地区別での大きな違いは見られなかった。



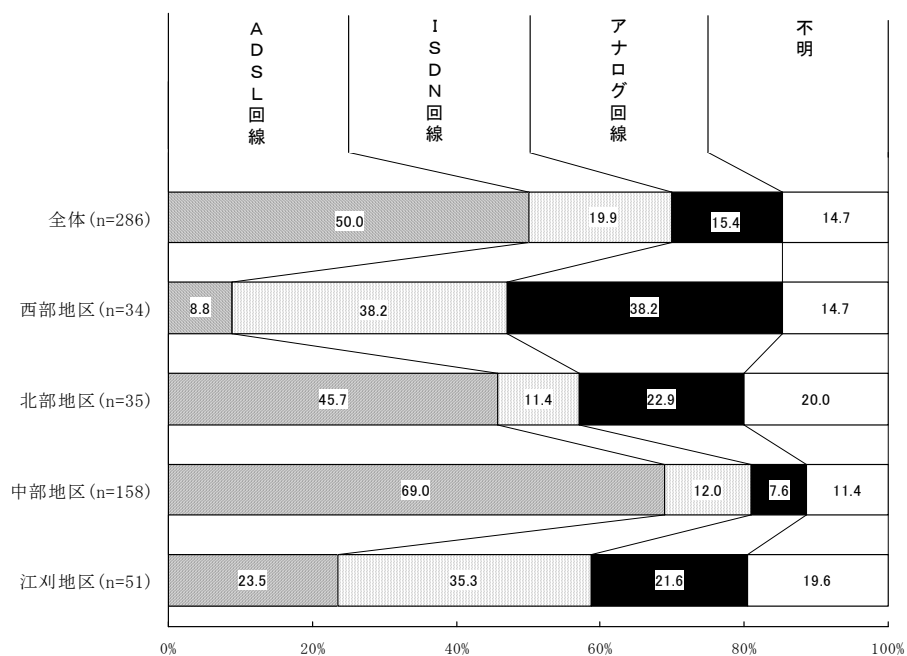
(3) インターネットへの接続 (択一回答)

全体では、「接続している」が53.1%となっており、約半数となっている。
 地区別で見ると、4地区の中で最も接続率が高いのが「中部地区」(61.5%)となっており、次いで「西部地区」(50.7%)、「北部地区」(45.5%)が続く。



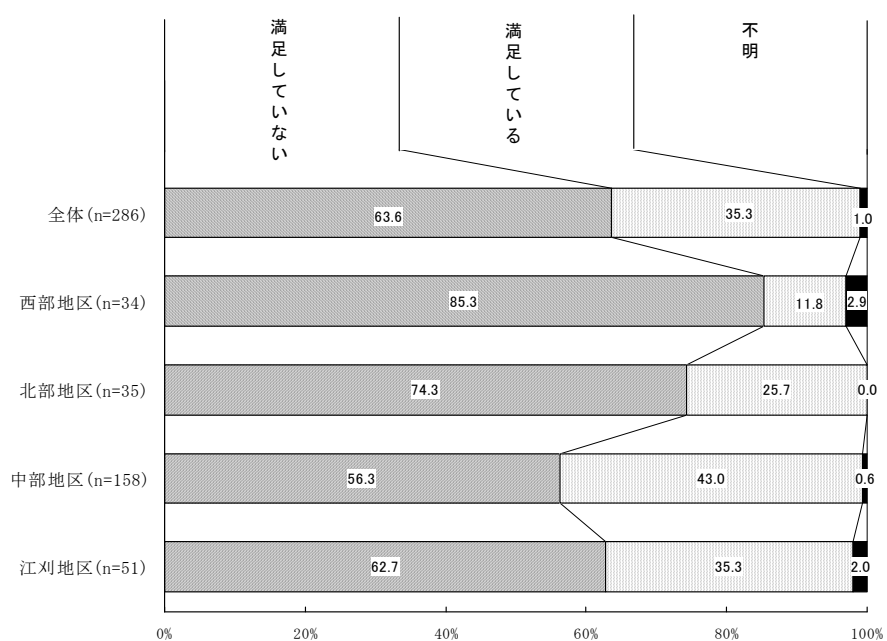
(3) インターネット接続回線 (択一回答)

「ADSL回線」への接続は、「中部地区」で約7割と高いのに対して、「中部地区」「江刈地区」で接続頻度が低い。



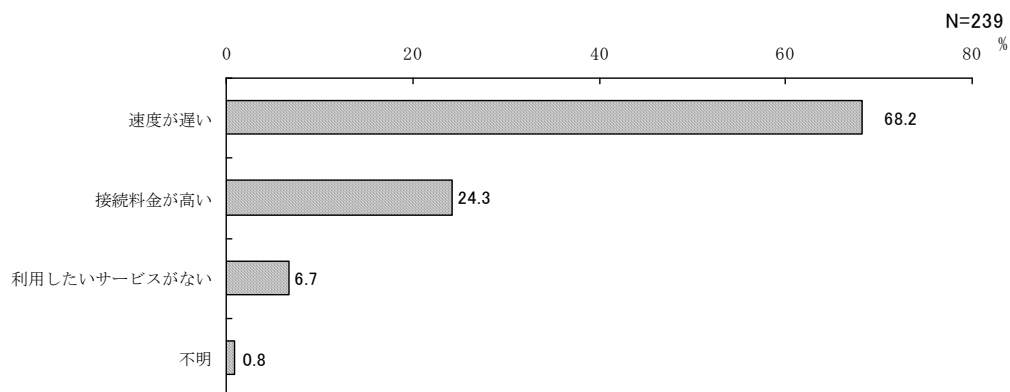
(4) 接続状況への満足度 (択一回答)

町全体では、「満足していない」が63.6%となっており、地区別では西部地区(85.3%)、北部地区(74.3%)で「満足していない」の割合が高い。



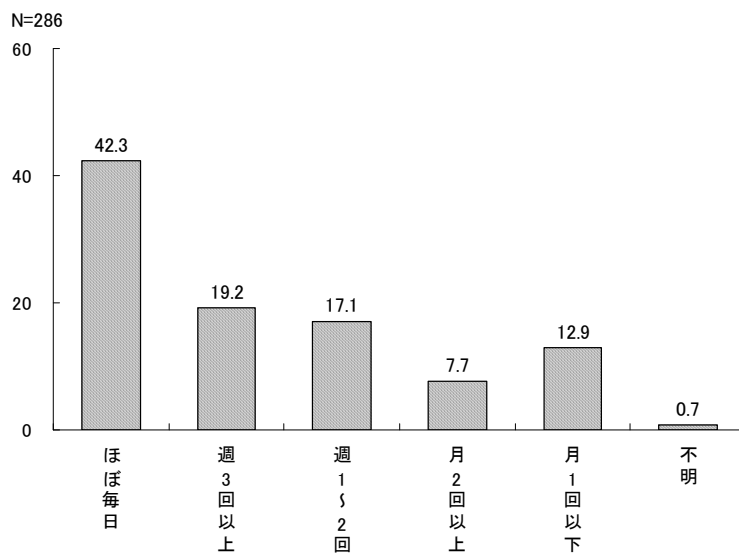
(5) 満足していない理由 ((4) で「満足していない」と答えた人) (複数回答)

最も多いのが「速度が遅い」(68.2%)となっており、次いで「料金が高い」(24.3%)となっている。



(5) インターネットの利用頻度 (択一回答)

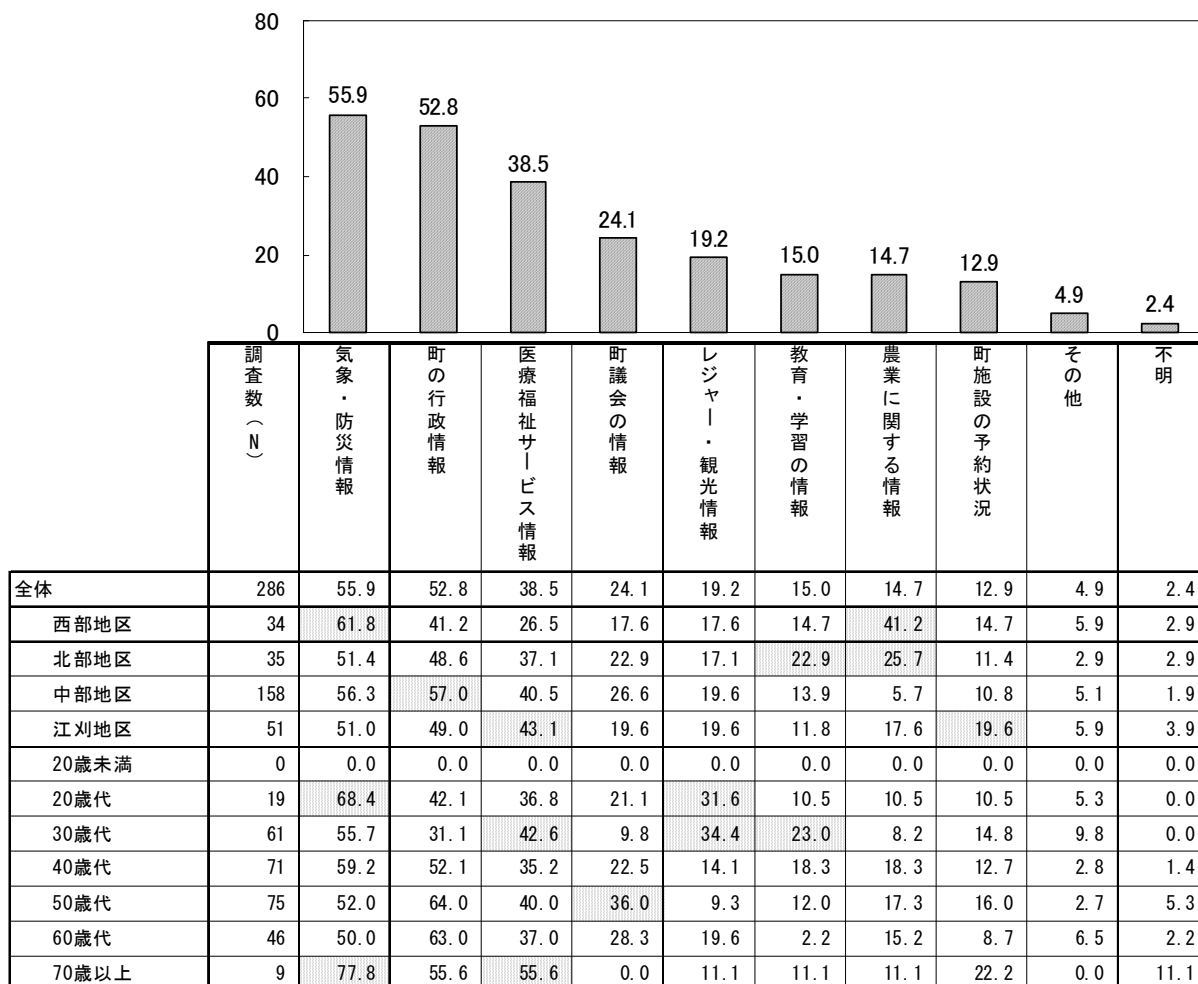
「ほぼ毎日」(42.3%)、週3回以上(19.2%)、週1~2回(17.1%)となっており、週1回以上インターネットを利用する人の割合は、約8割となっている。



(7) 役場からインターネットで提供してほしい情報（複数回答：3つまで）

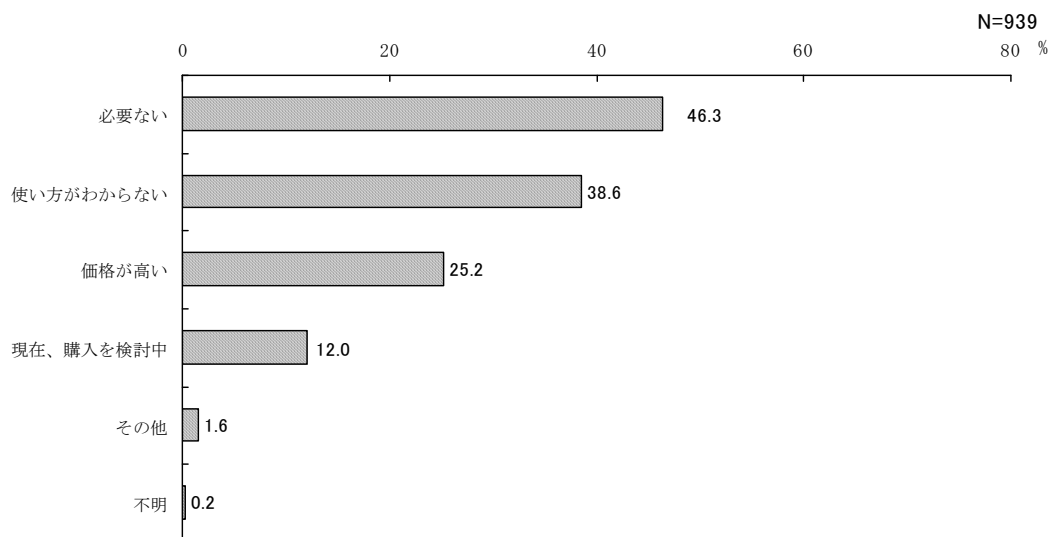
「気象・防災情報」（55.9%）が最も多く、次いで「町の行政情報」（52.8%）、「医療福祉サービス」（38.5%）が続く。

また「その他」（4.9%）として、「町長の日記（ウェブログ）」や「求人情報」などがある。



問8. パソコンを利用しない理由（パソコンを持っていない方へ）（択一回答）

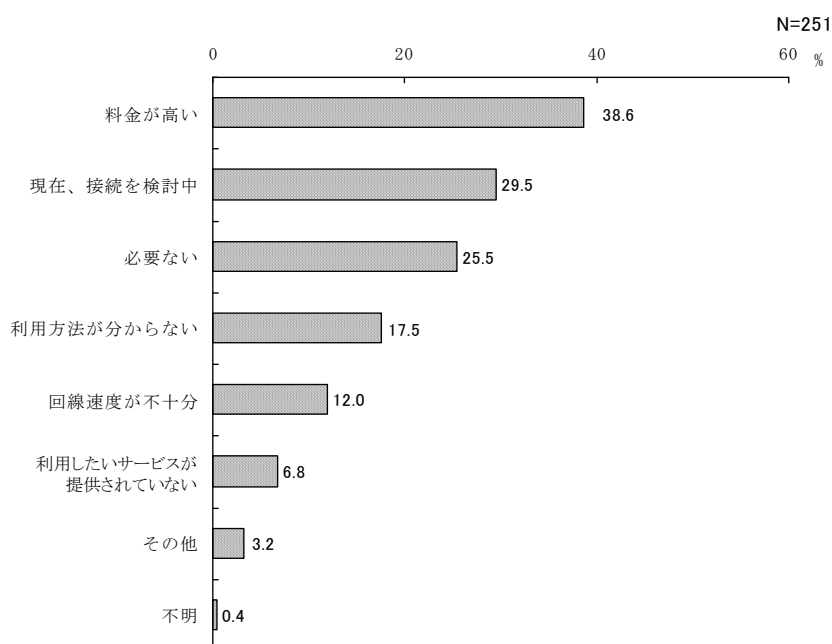
「必要ない」が最も多く46.3%を占めているものの、次いで「使いかたがわからない」（38.6%）、「価格が高い」（25.2%）と続いており、パソコンを持つことに対する物理的な理由も大きく作用している。



問9. パソコンをインターネットに接続していない理由

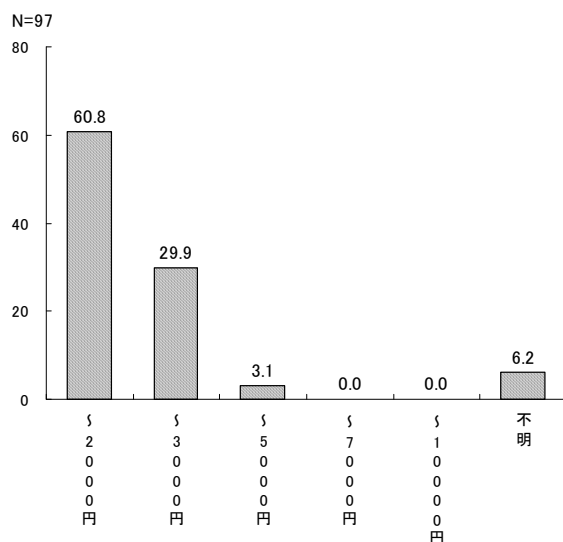
(1) インターネットに接続していない理由（複数回答）

「料金が高い」が最も多く38.6%をとなっており、次いで「現在、接続を検討中」（29.5%）、「必要ない」（25.5%）と続いており、「接続意向」と「非接続意向」の2極化の傾向が見られる。



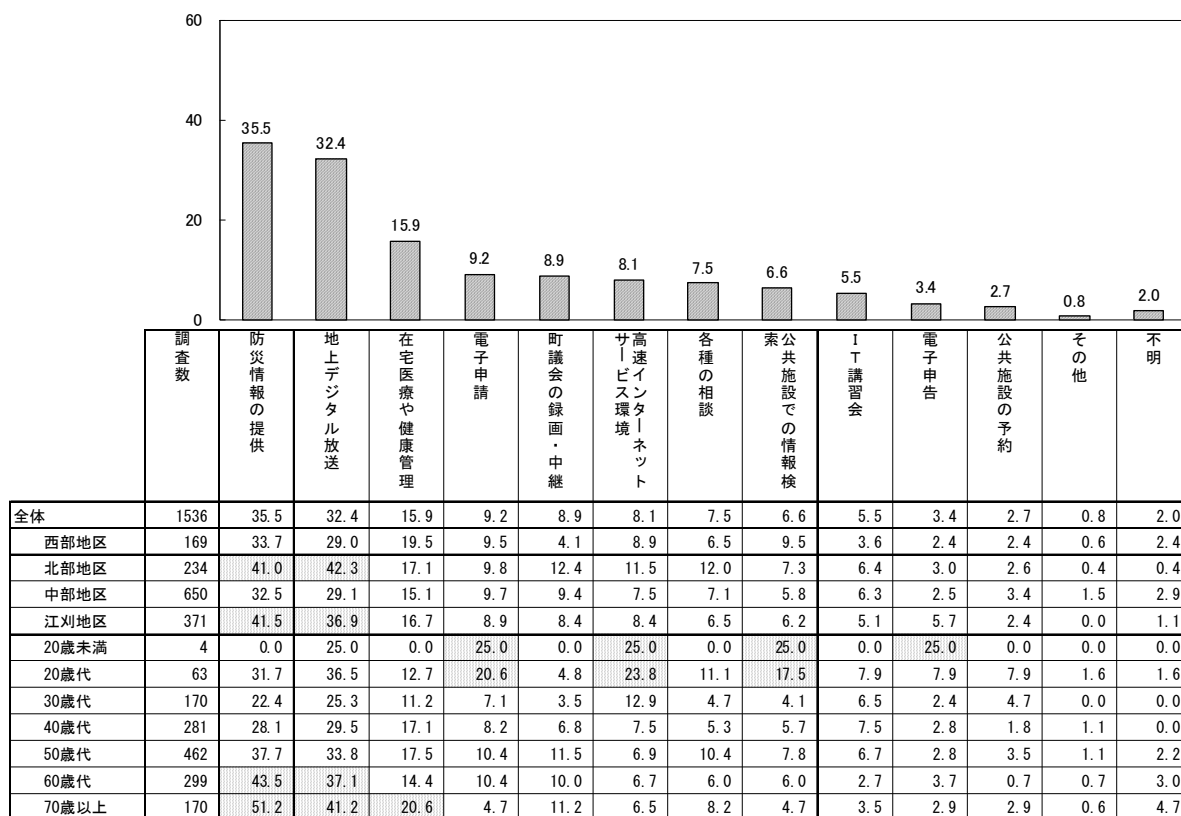
(2) 月額いくらまでならインターネットを利用してもよいか (択一回答)

「～2,000円」が最も多く60.8%となっており、上限は「～5,000円」となっている。



問10. 町の情報化に期待すること (択一回答)

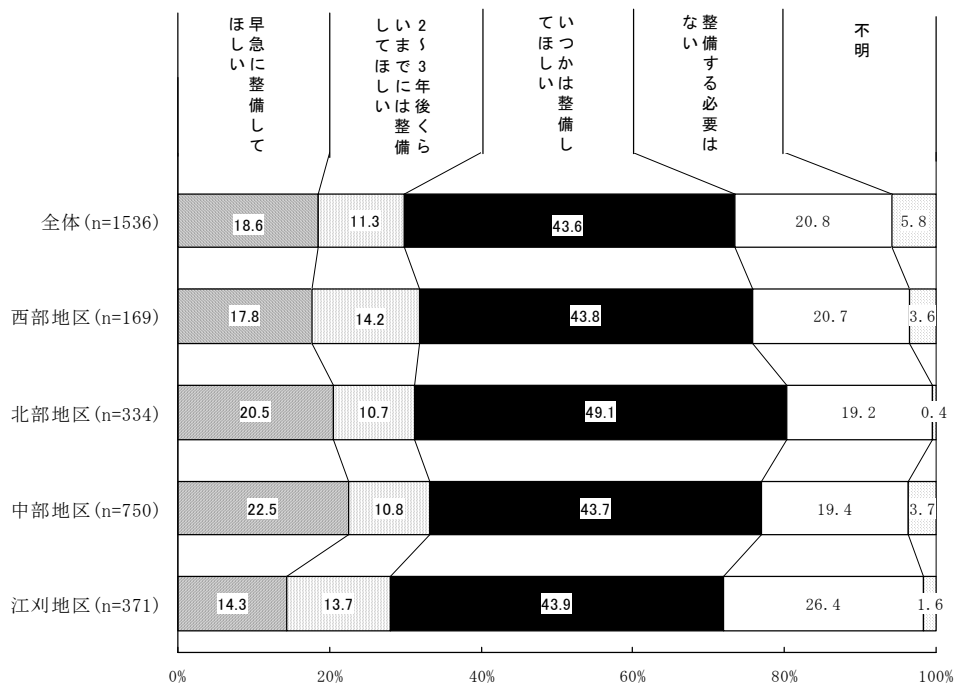
最も多いのが「防災情報の提供」(35.5%)となっており、次いで「地上デジタル放送」(32.4%)、「在宅医療や健康管理」(15.9%)などが続いている。



問 1 1. 光ファイバ網の整備の必要性 (択一回答)

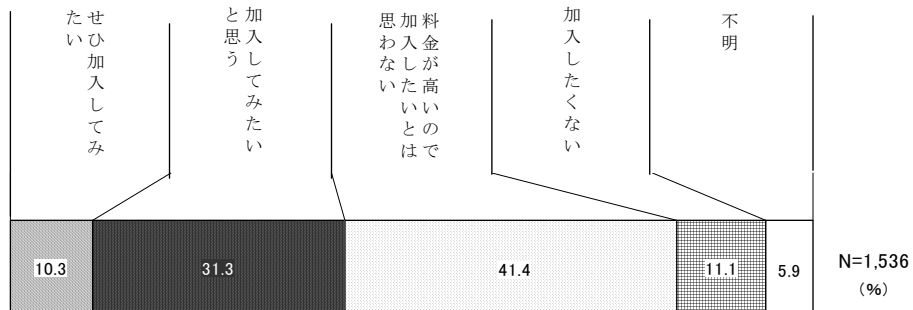
町全体では、「早急に整備してほしい」(18.6%)、「2～3年後くらいまでには整備してほしい」(11.3%)、「いつかは整備してほしい」(43.6%)を合わせると73.5%となり、地区別で見ても平均して7割以上の方が高速通信網の整備を望んでいる。

また地区別に比較すると、最も整備への意向の高いのが北部地区(80.3%)、次いで中部地区(77.0%)となっており、最も整備への意向が低かったのが江刈地区(71.9%)となっている。



問 1 2. 月額5,000円の料金だった場合の高速通信環境の利用意向 (択一回答)

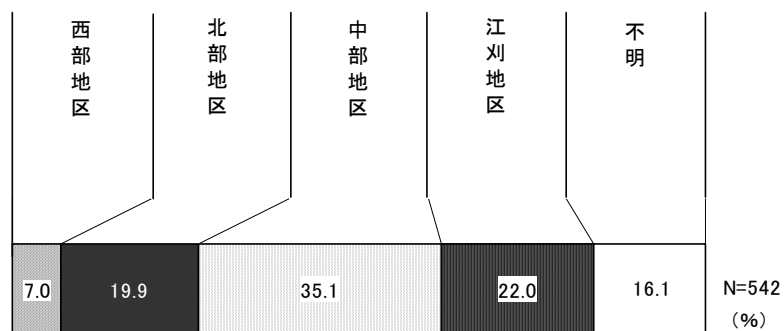
月額5,000円での高速通信環境の利用意向は、「ぜひ加入してみたい」「加入してみたいと思う」を合わせて41.6%と、過半数を下回った。



【高齢者ニーズ】

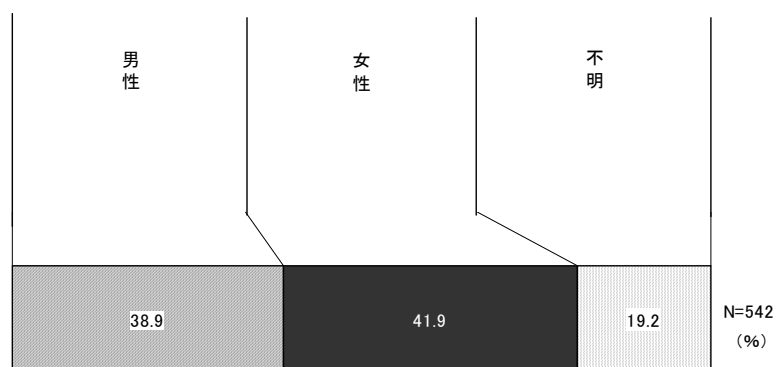
問1. 回答者の属性

(1) 居住地区（択一回答）



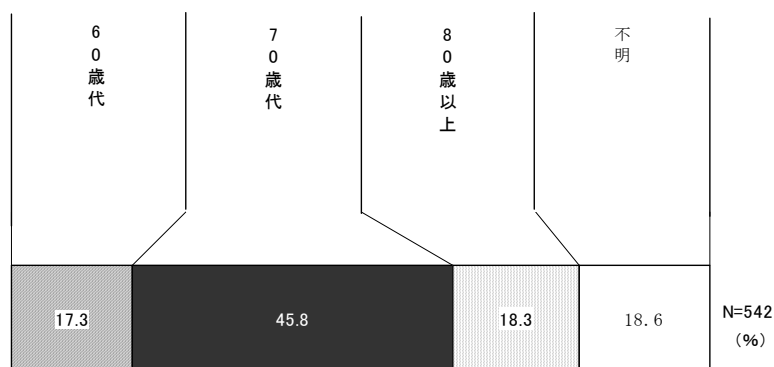
(2) 性別（択一回答）

性別の割合については、ほぼ半々となっており、地区別での大きな違いは見られない。



(3) 年代（択一回答）

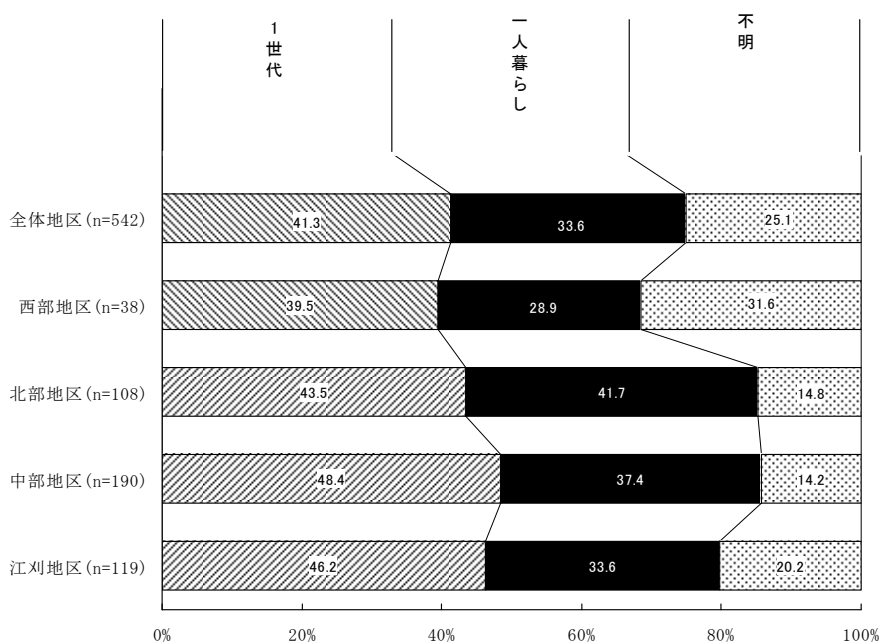
地区別での大きな違いはみられなかった。



(4) 家族構成（択一回答）

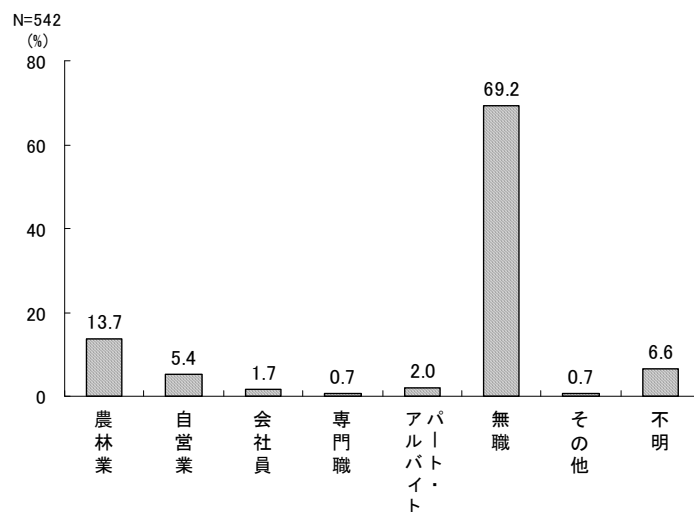
全体で見ると、「一人暮らし」が最も多く45.8%となっている。

地区別では、「北部地区」(41.7%)、中部地区(37.4%)と「一人暮らし」の割合が高い。



(5) 職業 (択一回答)

「無職」(69.2%)が最も多く、以下「農林業」(13.7%)、「自営業」(5.4%)と続いている。



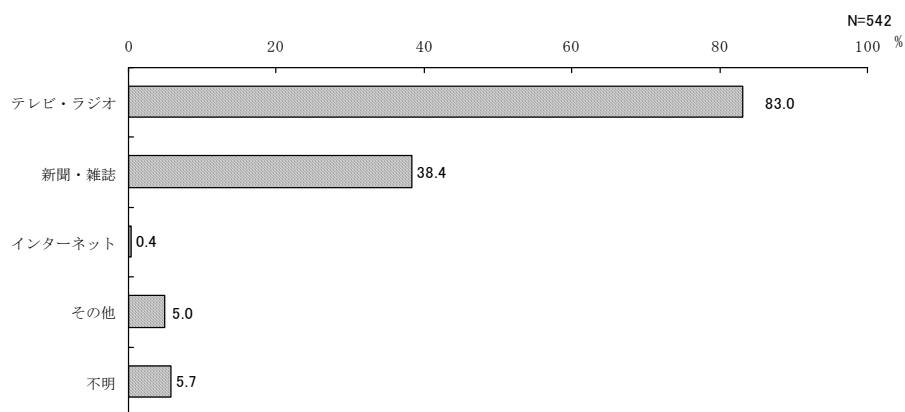
(上段:件数(件)、下段:構成比(%))

	調査数	農林業	自営業	会社員	専門職	アルバイト・パート	無職	その他	不明
60歳代	94	17	6	3	3	6	57	1	1
	100.0	18.1	6.4	3.2	3.2	6.4	60.6	1.1	1.1
70歳代	248	40	14	3	0	3	186	2	0
	100.0	16.1	5.6	1.2	0.0	1.2	75.0	0.8	0.0
80歳以上	99	8	3	0	0	0	85	1	2
	100.0	8.1	3.0	0.0	0.0	0.0	85.9	1.0	2.0

問2. 町の情報通信の現状について

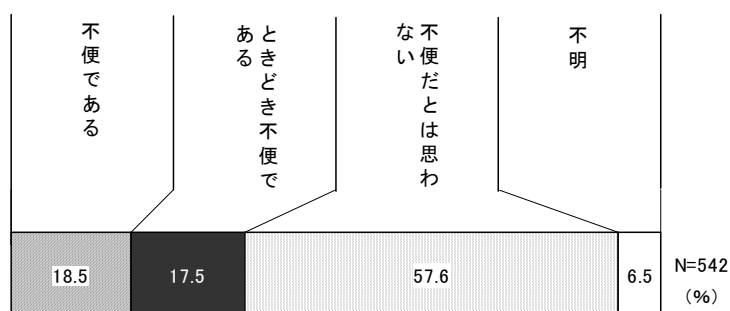
(1) 情報収集先（複数回答）

「テレビ・ラジオ」が最も多く83.0%を占め、次いで「新聞・雑誌」（38.4%）が続き、「インターネット」（0.4%）は少数にとどまった。



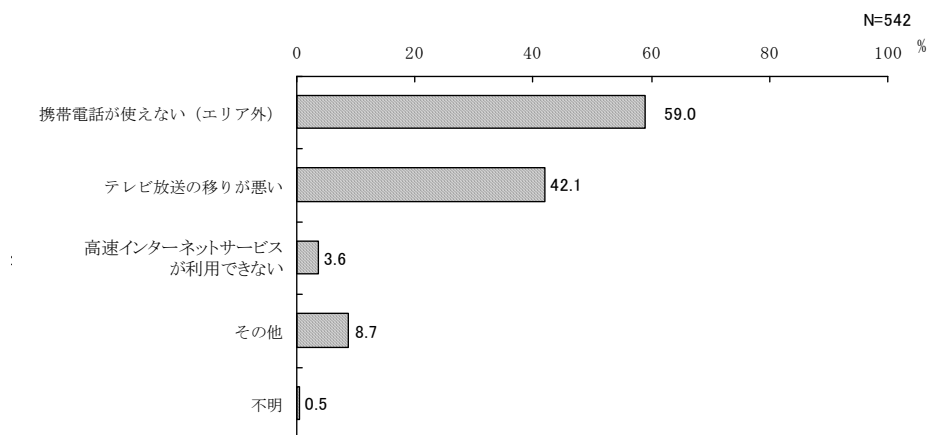
(2) 町内での情報通信について（択一回答）

「不便である」（18.5%）、「ときどき不便だと思う」（17.5%）と、何らかの不便を感じている人の割合を合わせると、3割強にとどまる。



(3) 情報通信の利用にあたって不便な点（複数回答）

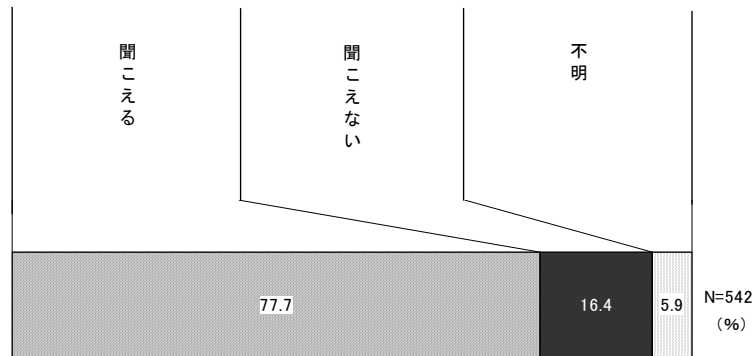
「携帯電話が使えない」が最も多く、59.0%を占め、次いで「テレビ放送の移りが悪い」（42.1%）が続き、「ADSLサービスが利用できない」（3.5%）は少数であった。



問3. 防災情報について

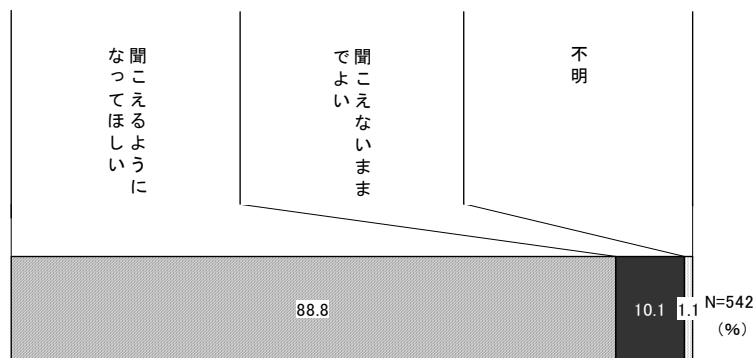
(1) 自宅周辺で「災害用サイレン」や「メロディチャイム」は聞こえるか（択一回答）

「聞こえる」が、約8割となっている。



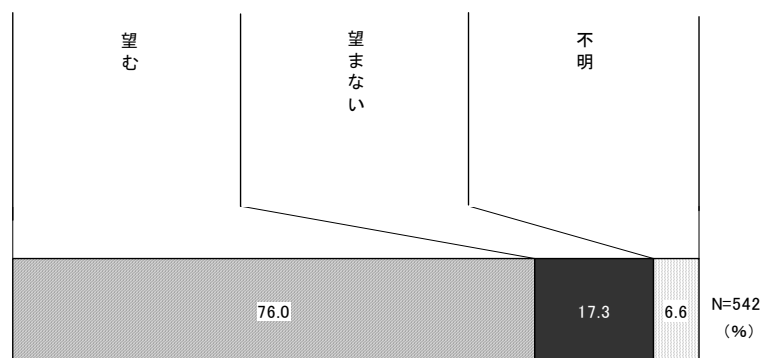
(2) 聞こえるようになったほうがよいか（(1)で「聞こえない」と答えた人に）（択一回答）

「聞こえるようになってほしい」が約9割となっている。



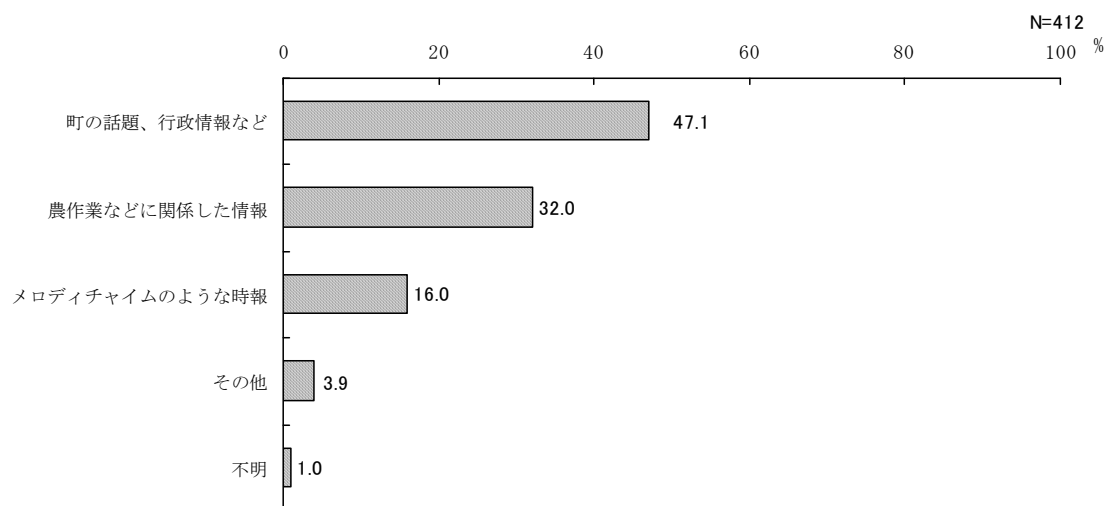
(3) 防災情報がメロディチャイムのように屋外で音声放送されることを望むか（択一回答）

「望む」が約8割となっている。



(4) 防災情報のほかにそのような情報が放送されることを望むか（択一回答）

「町の課題、行政情報など」（47.1%）が最も多く、次いで「農作業などに関係した情報」（32.0%）
「メロディチャイムのような時報」（16.0%）となった。



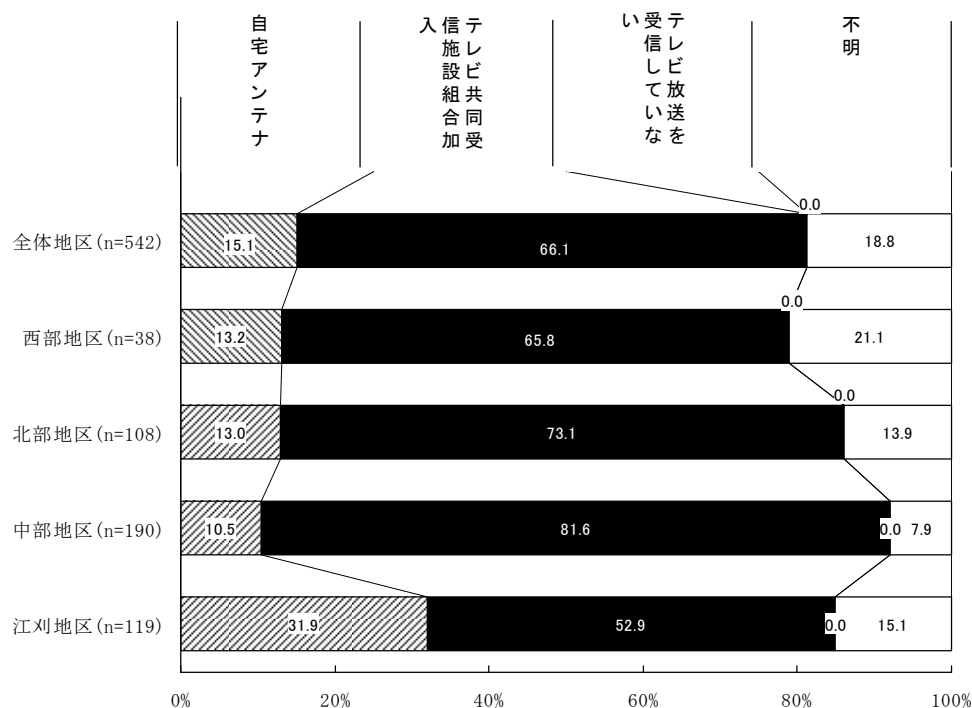
問5. テレビ放送について

(1) テレビの受信方法

組合による共同受信が最も多く、6割を超えている。

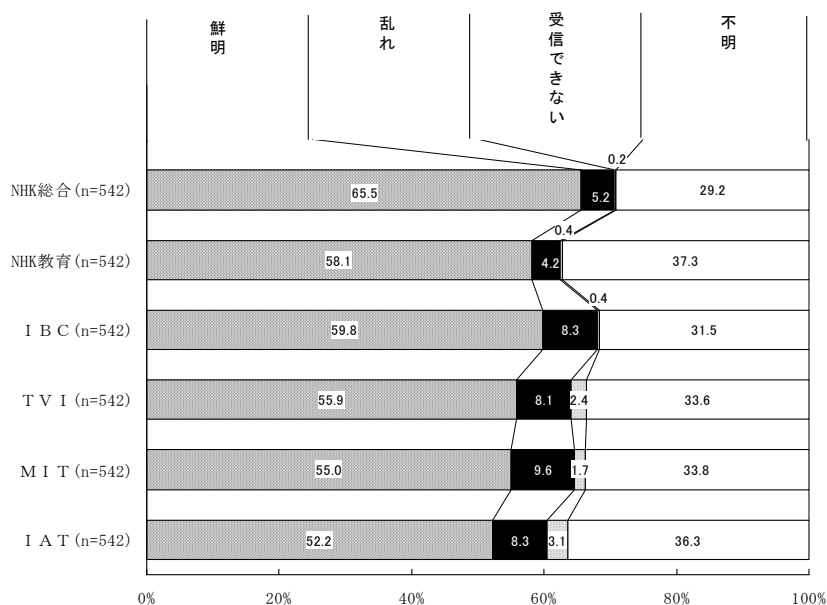
地区別で見ると、中部地区で「共同受信施設組合」への加入による受信が81.6%となっている。

また、自宅アンテナによる受信の割合が高いのが江刈地区（31.9%）となっている。



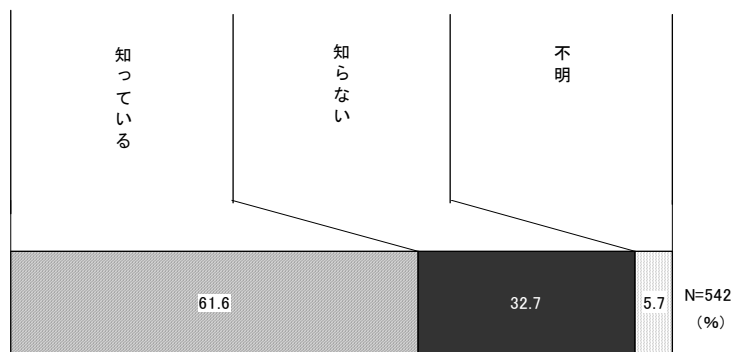
(2) テレビ放送の受信状況 (択一回答)

NHK総合、NHK教育は、約6割が鮮明に受信しているものの、UHF受信チャンネルについては、鮮明に受信している割合が5割程度にとどまる。

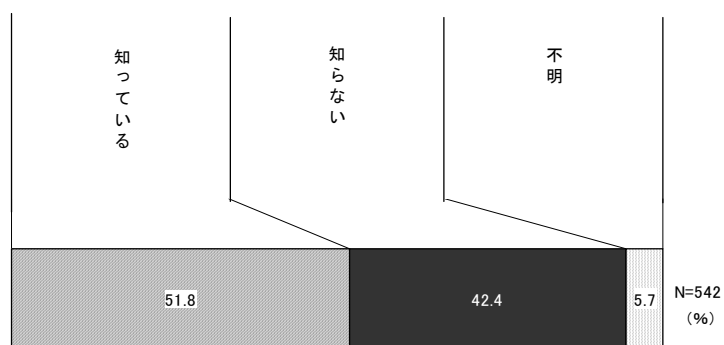


問5. 地上デジタル放送について

(1) 現在のアナログ放送が終了となることを知っているか (択一回答)



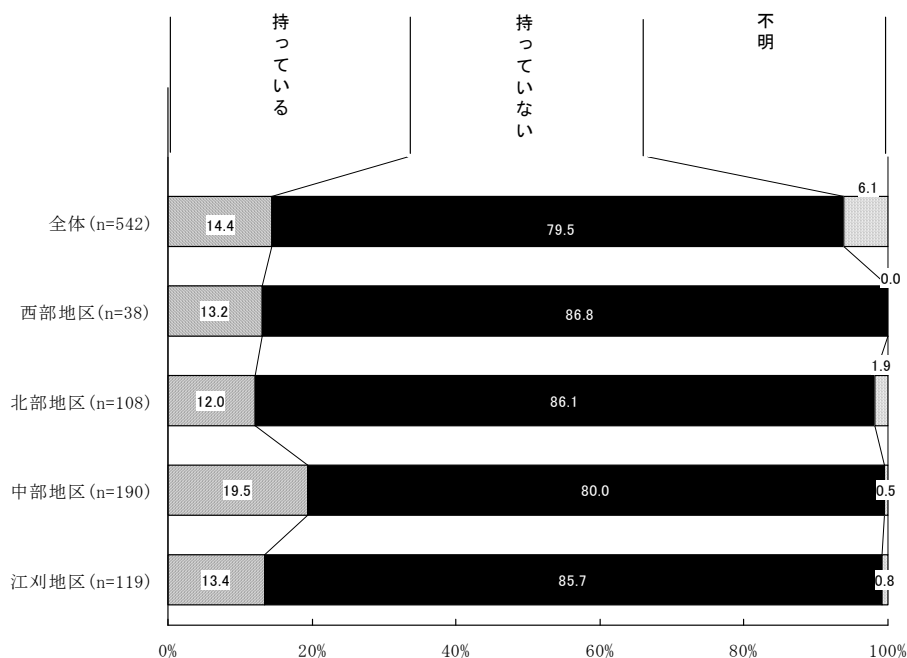
(2) 地上デジタル放送を視聴するにあたって、専用のチューナーが必要となることを知っているか (択一回答)



問6. 携帯電話について

(1) 携帯電話を持っているか (択一回答)

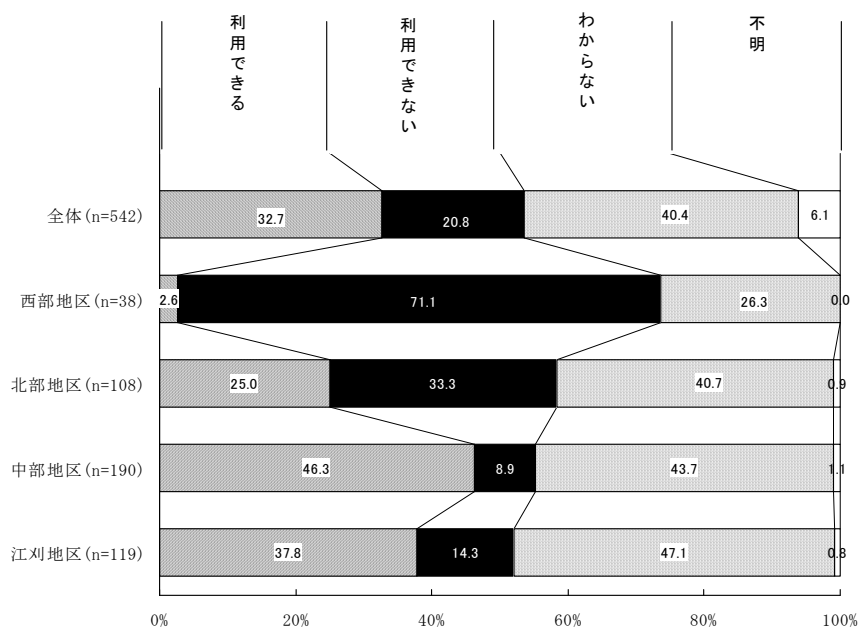
全体で見ると「持っている」が14.4%となっている。地区別での大きな違いは見られない。



(2) 自宅周辺での携帯電話の利用状況 (択一回答)

全体で見ると、「利用できる」が32.7%となっている。

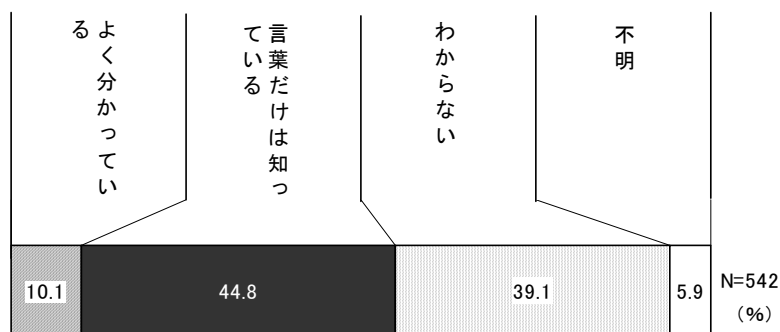
地区別で見ると、中部地区で「利用できる」(46.3%)となっており、4地区の中でもっとも多くなっている。西部地区で「利用できない」(71.1%)となっており、他の地区に比べて著しく低くなっている。



問7. パソコン・インターネットについて

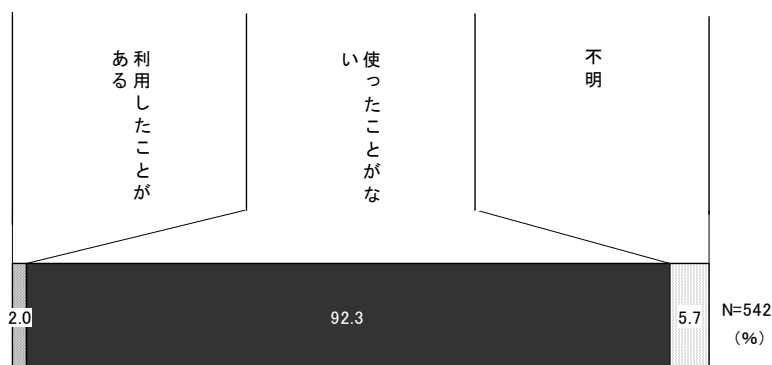
(1) 自宅でのパソコン所有 (択一回答)

「よく分かっている」(10.1%)、「言葉だけは知っている」(44.8%) を合わせて約5割強がインターネットについて認知している。



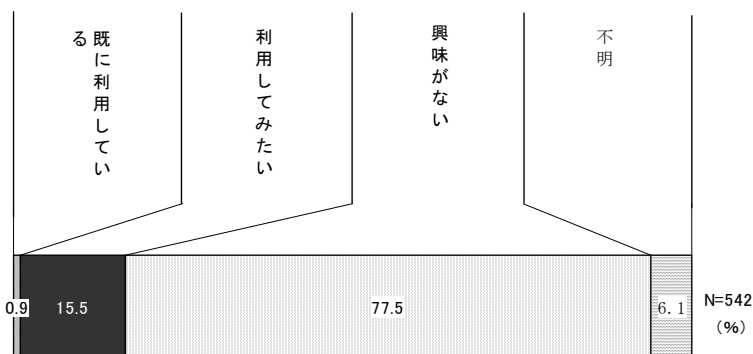
(2) インターネットの利用経験 (択一回答)

インターネットの利用経験については、「使ったことがない」(92.3%) となっており、大半が利用した経験がない。

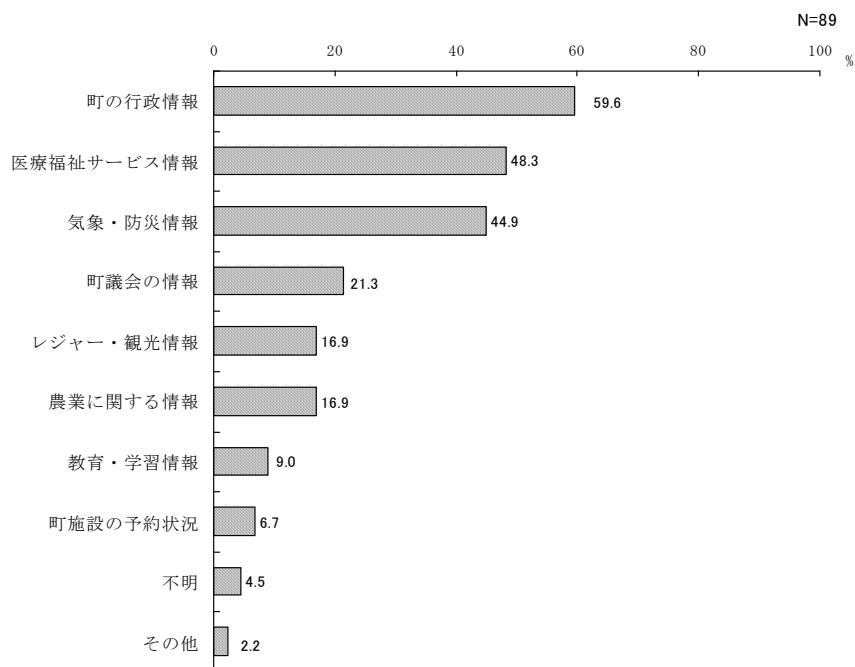


(3) 自宅でのインターネットの利用意向 (択一回答)

「興味がない」(77.5%) が最も多く、「すでに利用している」(0.9%)、「利用してみたい」(15.5%) を合わせても利用意向の割合は、2割弱にとどまる。

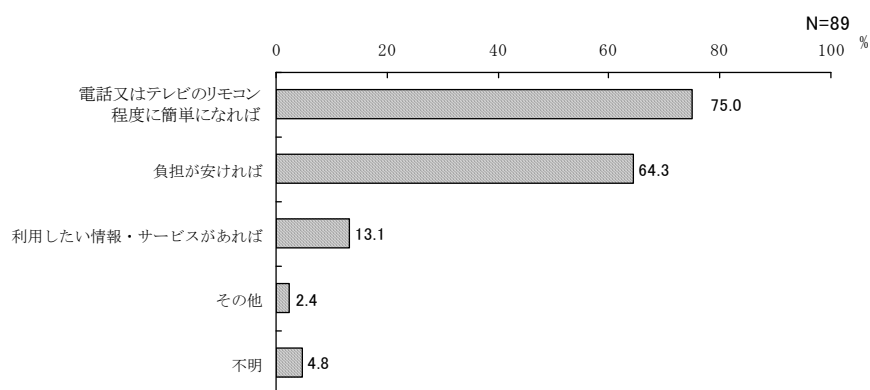


(4) インターネットで利用してみたい情報 ((3) で利用意向を示した人へ) (複数回答)
 最も多かったのが「町の行政情報」(59.6%)となっており、次いで「医療福祉サービス」
 (48.3%)、「気象・防災情報」(44.9%)など、日常生活に近い情報が上位となっている。

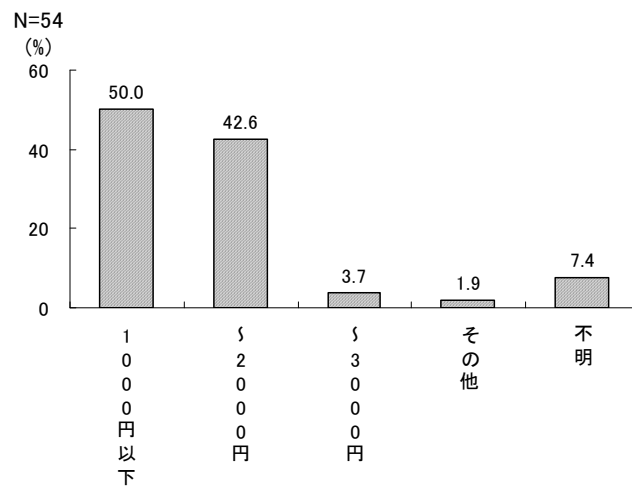


(5) 利用の条件 ((3) で利用意向を示した人へ) (複数回答)

最も多いのが、「電話又はテレビのリモコン程度に簡単になれば」(75.0%)になっており、
 次いで「負担が安ければ」(64.3%)と続いている。操作性と価格面での改善が必要とされる。

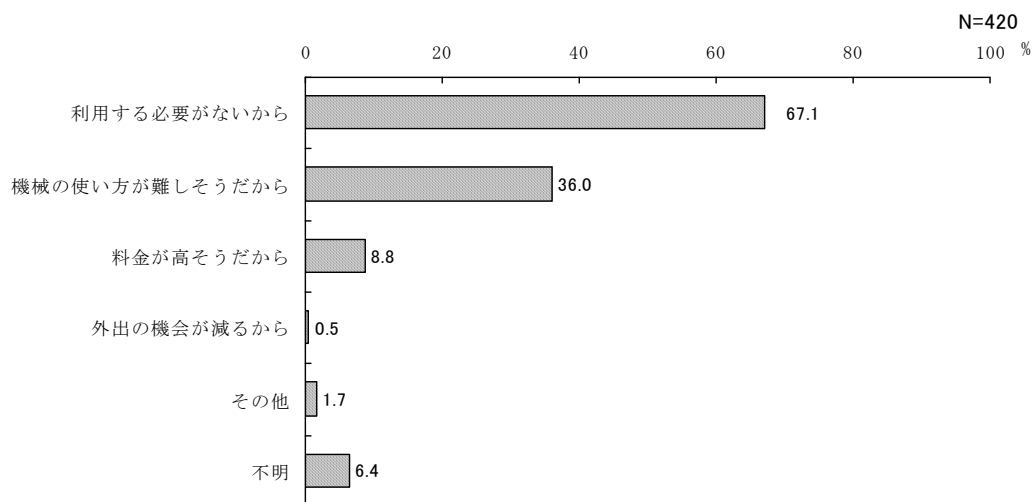


(6) 月額負担金額 ((5) で「安ければ」と答えた人へ) (択一回答)



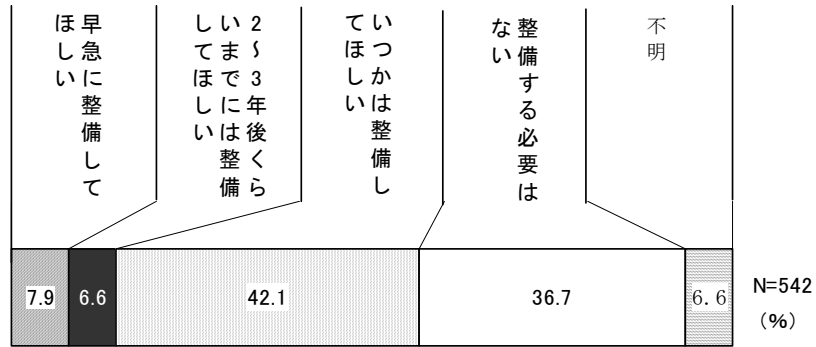
問8. インターネットを利用したくない理由 (問7(3)で「興味がない、利用したくない」と答えた人) (複数回答)

最も多かったのが「利用する必要があるから」(67.1%)、次いで「機械の使い方が難しそうだから」(36.0%)となっている。



問9. 光ファイバの整備の必要性について（択一回答）

「早急に整備してほしい」（7.9%）、「2～3年後くらいまでには整備してほしい」（6.6%）、
 「いつかは整備してほしい」（42.1%）を合わせると、約5割強が整備への意向を持っている。

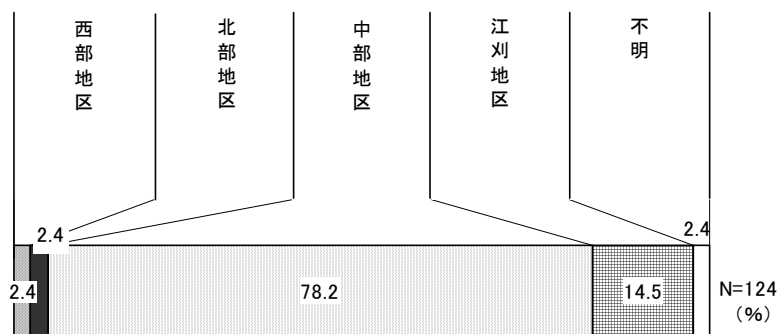


【企業ニーズ】

問1. 回答者の属性

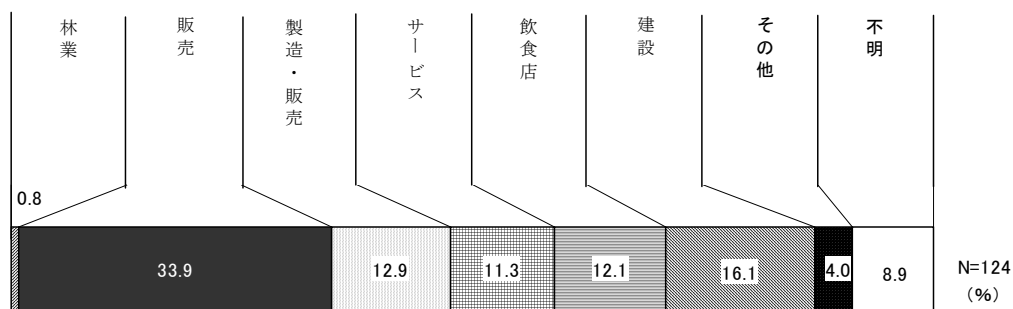
(1) 居住地区 (択一回答)

「中部地区」(78.2%) となっており、約8割が中部地区の商店・企業となっている。



(2) 業種 (択一回答)

最も多いのが「販売」(33.9%) となっており、その他「建設」(16.1%)、「製造販売」(12.9%)、「飲食店」(12.1%) と続き、第3次産業の割合が高くなっている。



商店・企業が、中部地区に偏っているため、参考値として下表を掲載する。

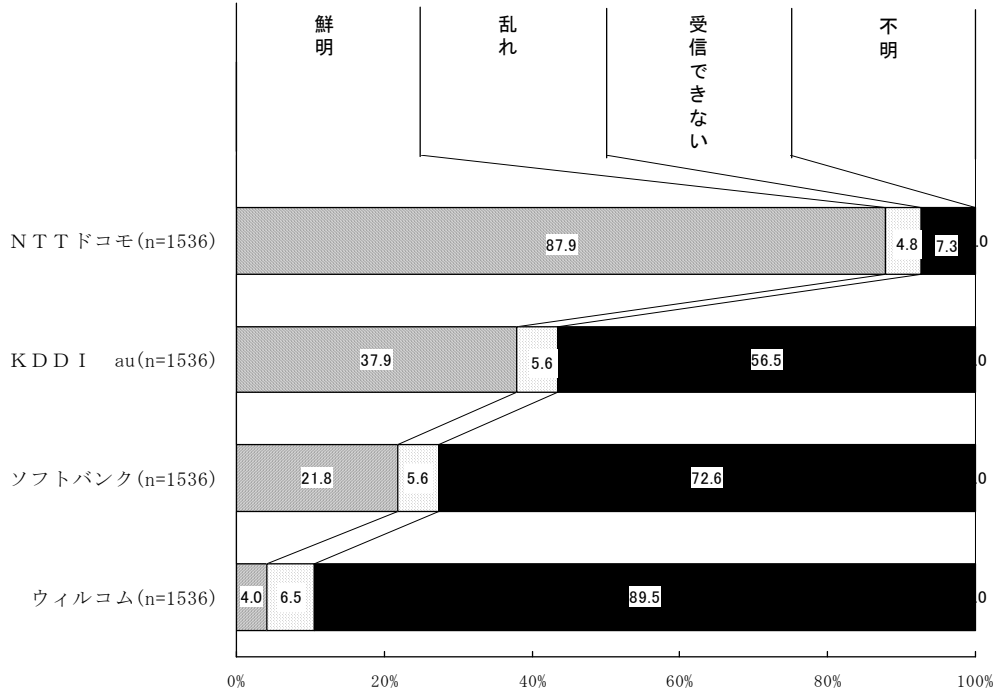
(上段: 件数 (件)、下段: 構成比 (%))

	調査数	林業	販売	製造・販売	サービス	飲食店	建設	その他	不明
西部地区	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3
北部地区	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0
中部地区	97 100.0	1 1.0	33 34.0	13 13.4	12 12.4	14 14.4	14 14.4	4 4.1	6 6.2
江刈地区	18 100.0	0 0.0	8 44.4	0 0.0	2 11.1	1 5.6	3 16.7	1 5.6	3 16.7

問2. 情報通信環境の現状について

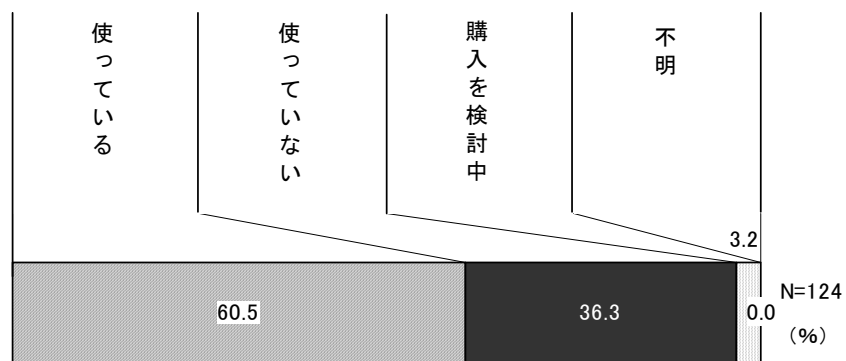
(1) 携帯電話の利用状況 (択一回答)

「NTTドコモ」で「鮮明」に映っている (87.9%) が最も多く、その他「KDDI au」、「ソフトバンク」、「ウィルコム」については、4割を下回った。



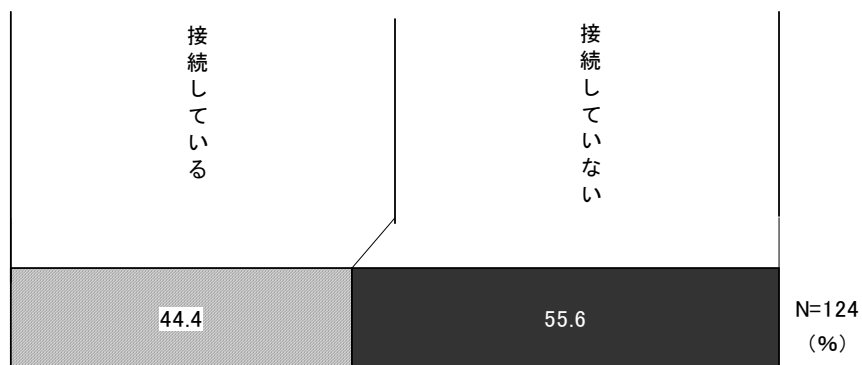
(2) パソコンを使っているか (択一回答)

「使っている」が約6割となっている。業種別に見ると、「販売」「製造・販売」「サービス」「建設」等で使用している割合が高くなっている。



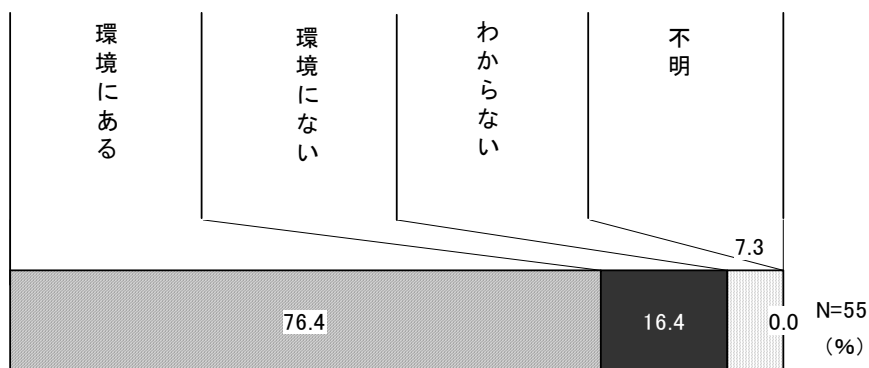
(3) インターネットに接続しているか (択一回答)

「接続している」(40.4%)となっており、問2(4)の「パソコンを使っている」(60.5%)と答えた割合と比較して、20.1ポイントの差がある。



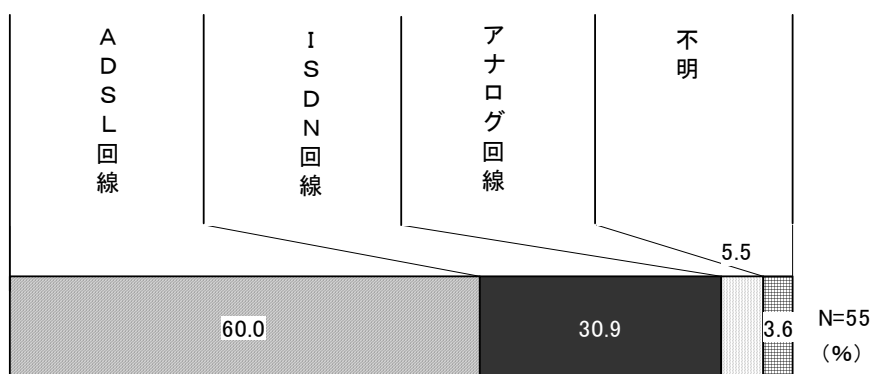
(4) 周辺に、ADSLでインターネットに接続できる環境があるか (択一回答)

インターネットをできる「環境にある」が約7割となっている。



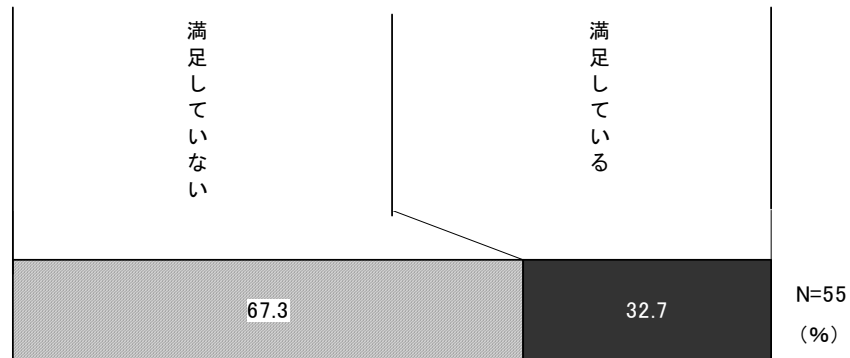
(5) 現在のインターネット回線 ((3)で「接続している」と答えた人) (択一回答)

最も多いのが「ADSL回線」(60.0%)となっており、次いで「ISDN回線」(30.9%)となっている。



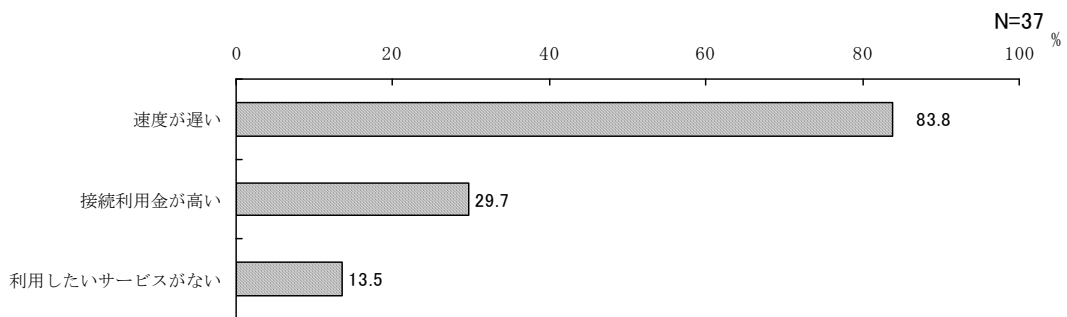
(6) 接続状況への満足度（択一回答）

「満足していない」が67.3%となっており、約7割となっている。



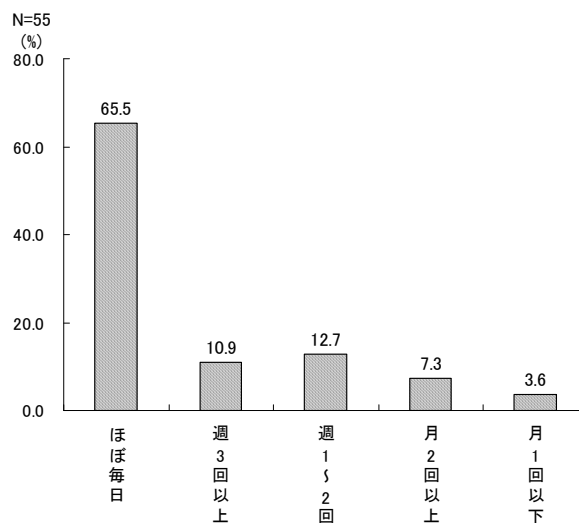
(7) 満足していない理由（(6)で「満足していない」と答えた人へ）（複数回答）

「速度が遅い」（83.8%）が最も多く、次いで「接続料金が高い」（29.7%）、「利用したいサービスがない」（13.5%）となっている。



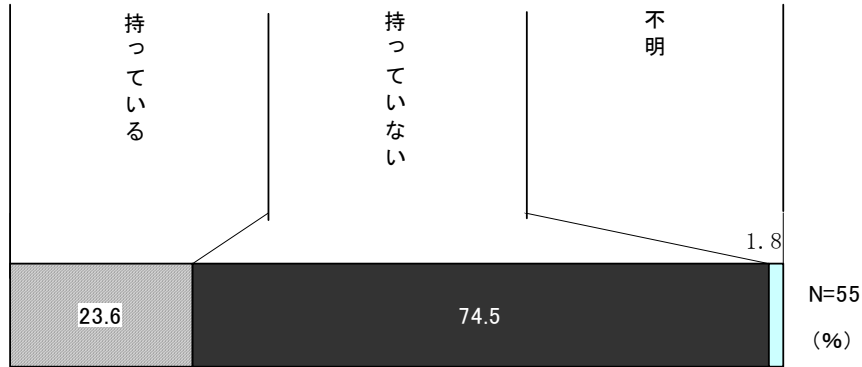
(8) インターネットの利用頻度（択一回答）

最も多いのは「ほぼ毎日」（65.5%）となっており、「週3回以上」（10.9%）、「週1～2回」（12.7%）を合わせると、約9割が週に1回以上はインターネットを利用している。



(9) ホームページを持っているか (択一回答)

ホームページを「持っていない」が74.5%となっており7割以上がホームページを開設していない。



(10) ホームページの開設目的 (複数回答)

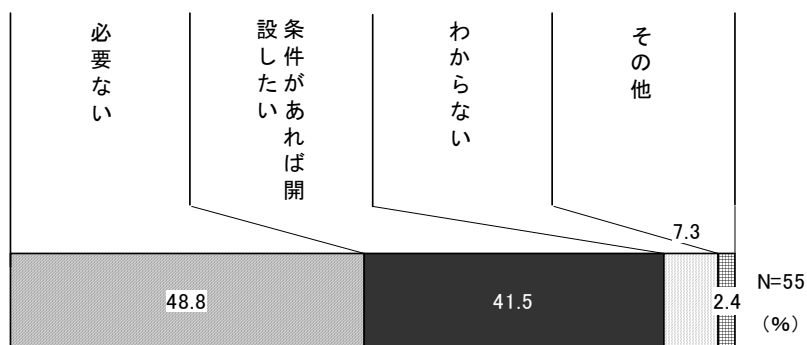
数が少ないため、件数表でしめす。

(単位:件)

調査数	自社のPR	通信販売	注文の受付	その他	不明
13	10	4	3	2	1

(11) ホームページの必要性はないか ((9) でもってない) (択一回答)

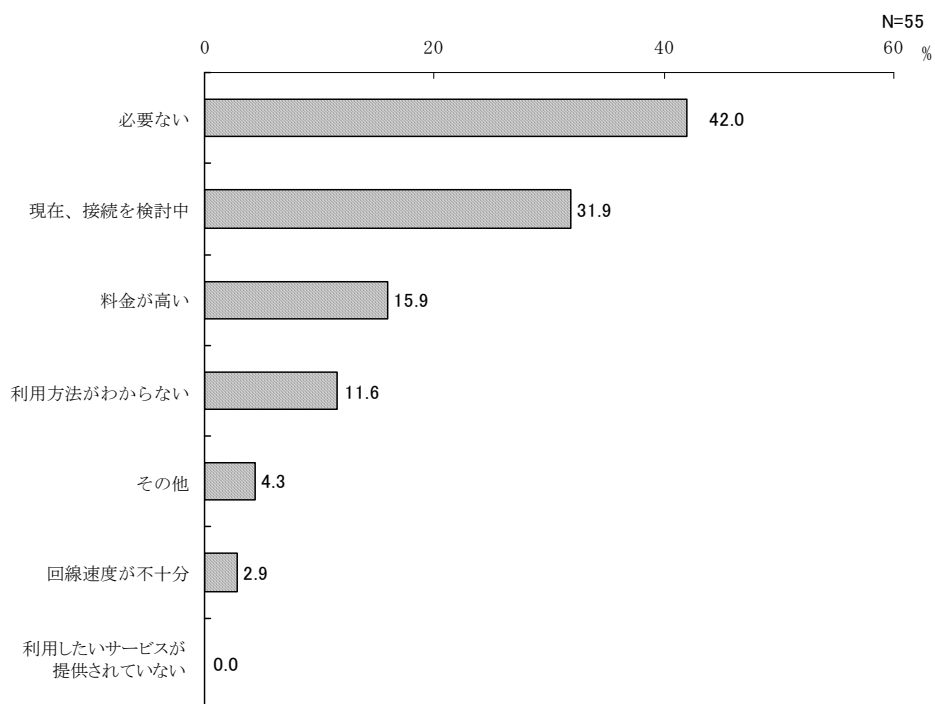
最も多いのが「必要ない」(48.8%)となっており、次いで「条件(経済的・技術的)があれば開設したい」(41.5%)が続いている。開設していない中でも、「必要ない」とする層と「開設したい」とする層で大きく2つに分かれる。



問3. インターネットに接続していない方へ

(1) インターネットを利用していない理由（複数回答）

最も多いのが「必要ない」（42.0%）となっており、次いで「現在、接続を検討中」（31.9%）、
「料金が高い」（15.9%）、「使用方法がわからない」（11.5%）と続いている。利用意向と比利用
意向が半々に分かれる。



(2) 月額でいくらまでならば負担できるか（(1)で「料金が高い」と答えた人へ）

(択一回答)

数が少ないため、件数表で示す。

11人中9人が「～3,000円」以下までの負担を容認している。

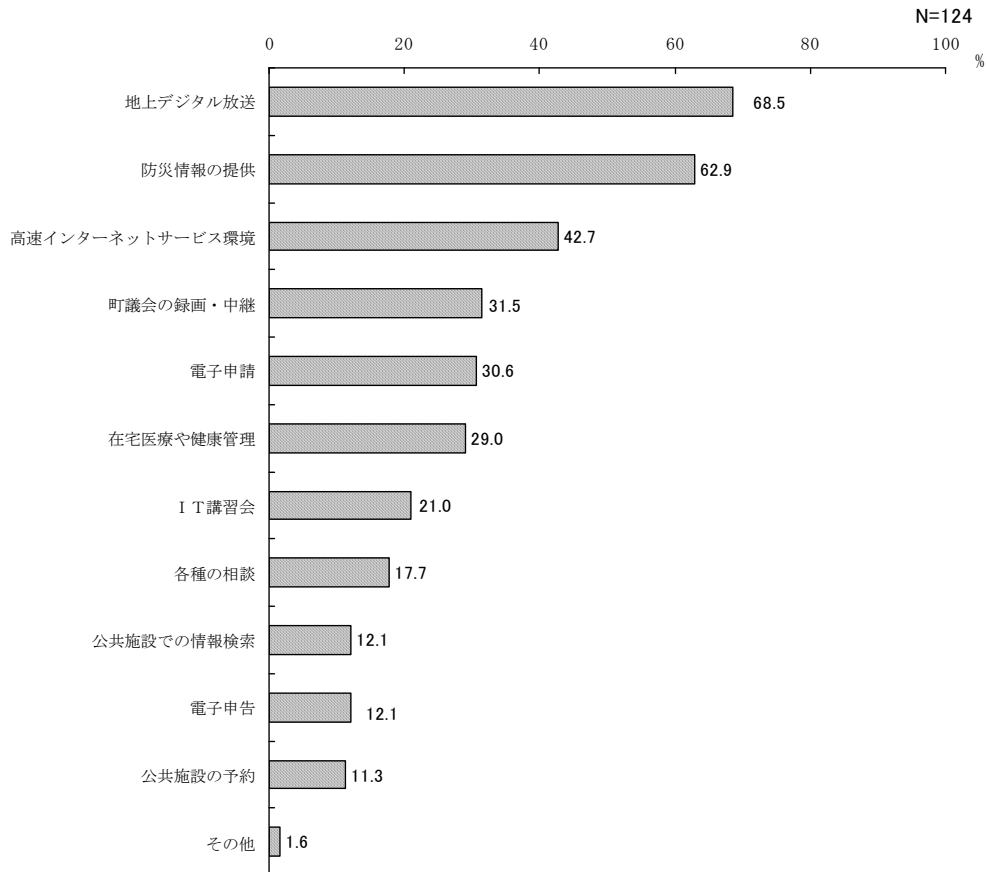
(単位：件)

調査数	2	3	5	7	1
	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0
	円	円	円	円	円
11	5	5	1	0	0

問4. 町の情報化について

町の情報化に期待すること（複数回答）

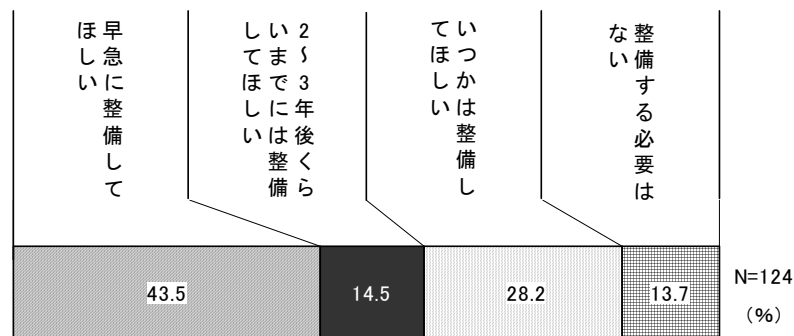
最も多かったのが「地上デジタル放送」（68.5%）となっており、次いで「防災情報の提供」（62.9%）、「高速インターネットサービス環境」（42.7%）と続いている。



問5. 光ファイバ網の整備について（択一回答）

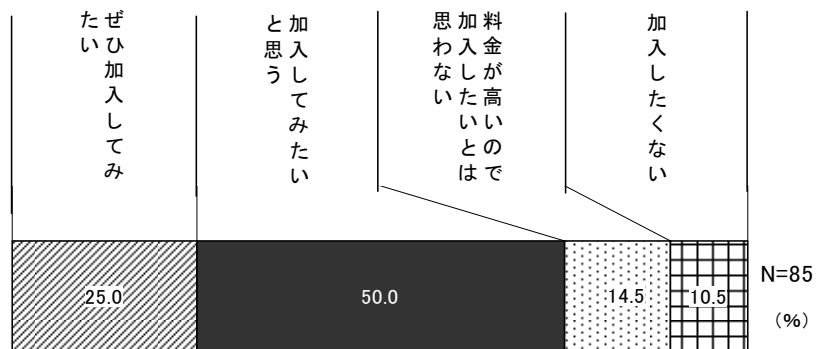
光ファイバ網の整備の必要性について

最も多いのが「早急に整備してほしい」（43.5%）となっており、「2～3年度くらいには整備してほしい」（14.5%）、「いつかは整備してほしい」（28.2%）と合わせると、整備意向は8割を超えている。



問6. 加入意向（択一回答）

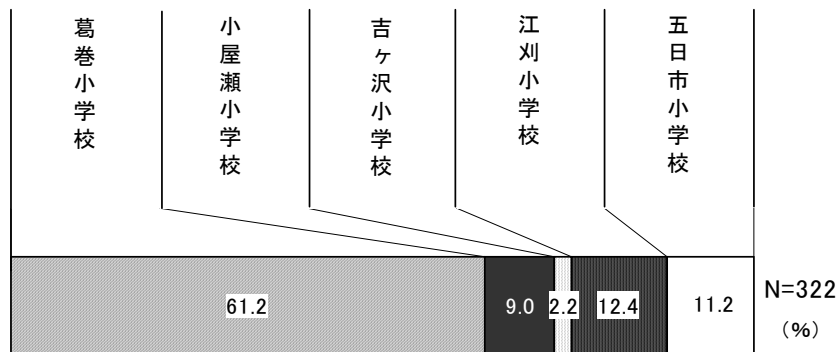
「ぜひ加入してみたい」（25.0%）、「加入してみたいと思う」（50.0%）を合わせると約7割となった。



【小中学生ニーズ】

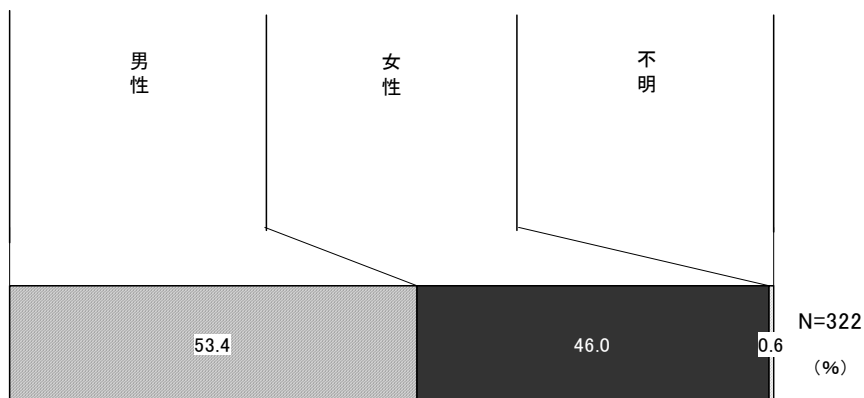
問 1. 回答者の属性

(1) 学校 (択一回答)

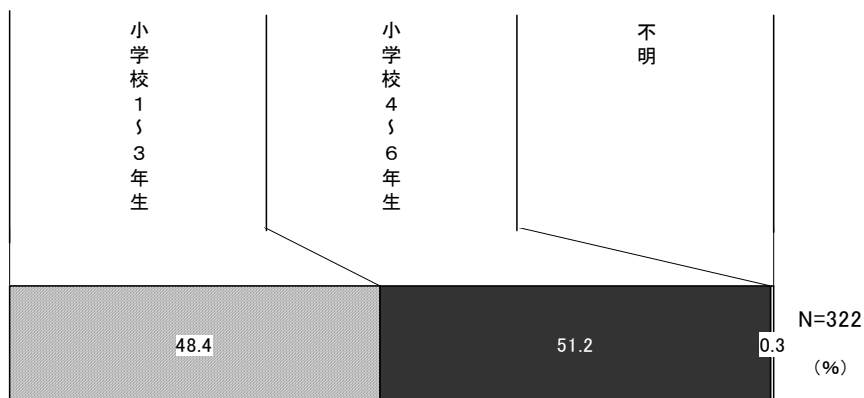


(2) 性別 (択一回答)

男女での大きい差はない。

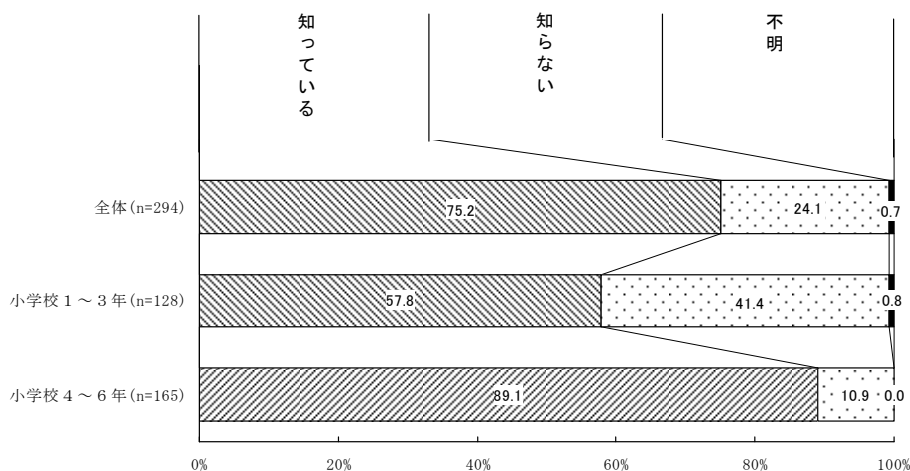


(3) 学年区分 (択一回答)



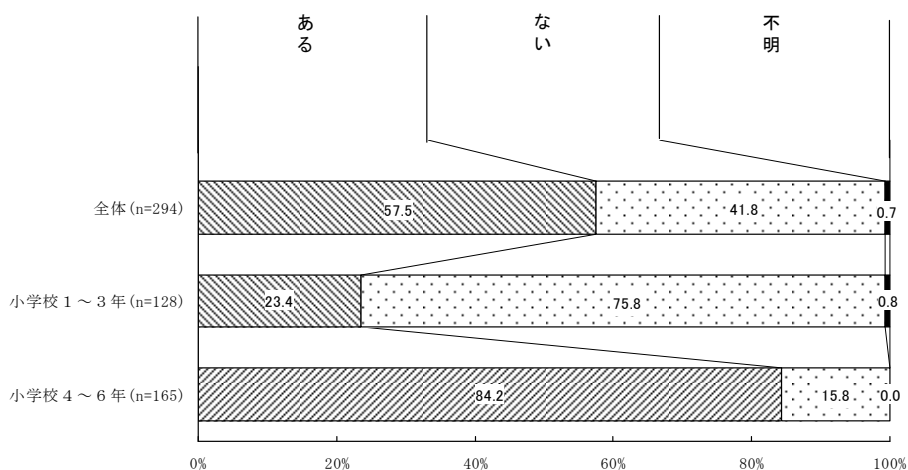
(4) インターネットを知っているか (択一回答)

「知っている」が69.9%となっており、約7割がインターネットを知っていると答えた。



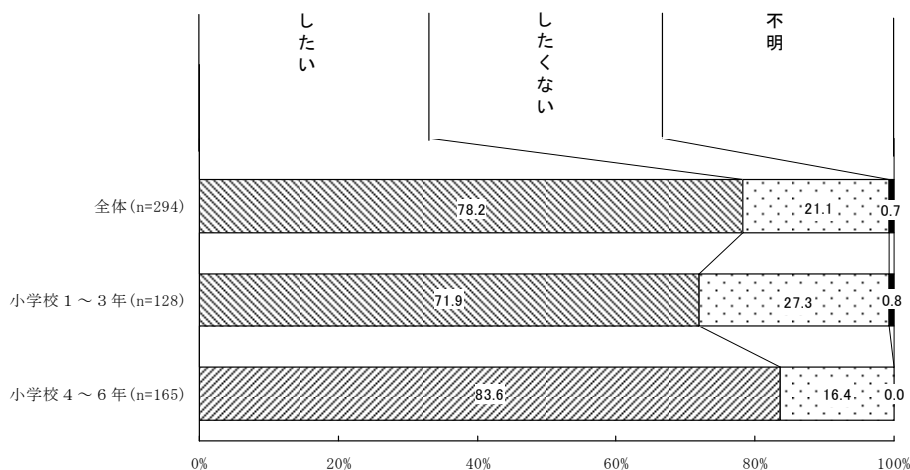
(5) 学校でインターネットを利用したことがあるか (択一回答)

「ある」が57.5%となっており、ほぼ半数が学校でインターネットを利用している。



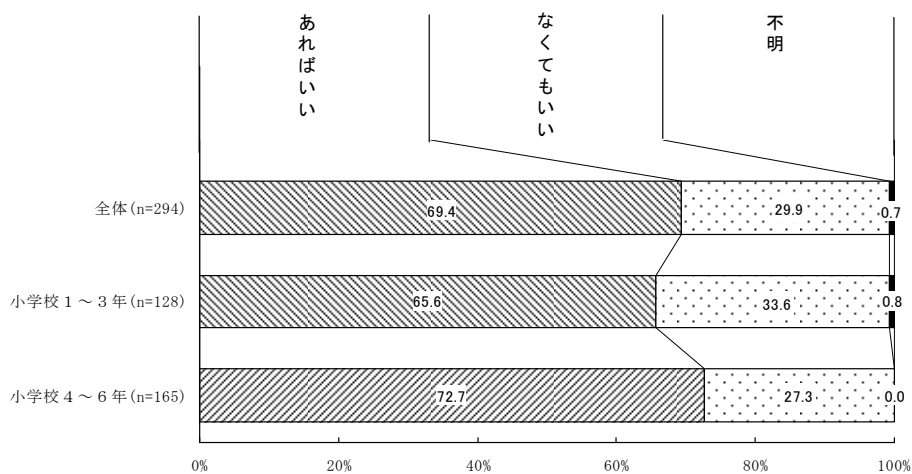
(6) 自宅でもインターネットを利用したいか (択一回答)

「したい」が78.2%となっており、約7割が自宅での利用意向を持っている。



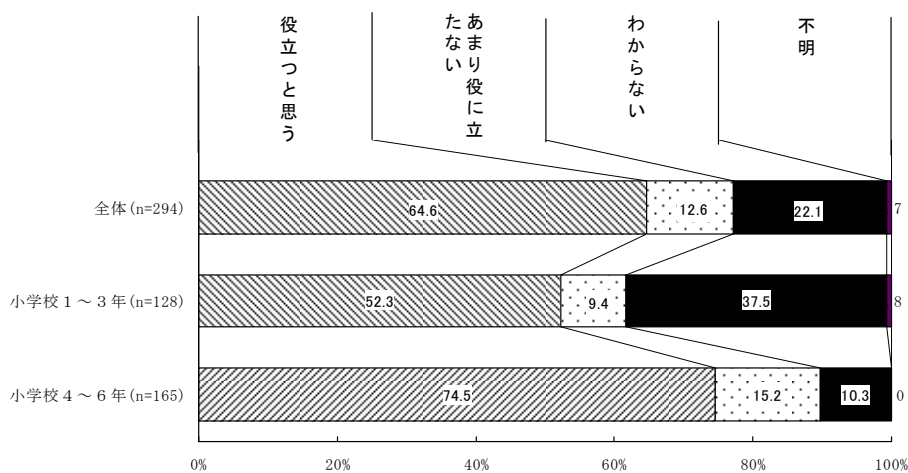
(7) 学校、自宅以外でもインターネットの出来る場所があった方がよいか (択一回答)

「あればいい」が65.2%となっている。



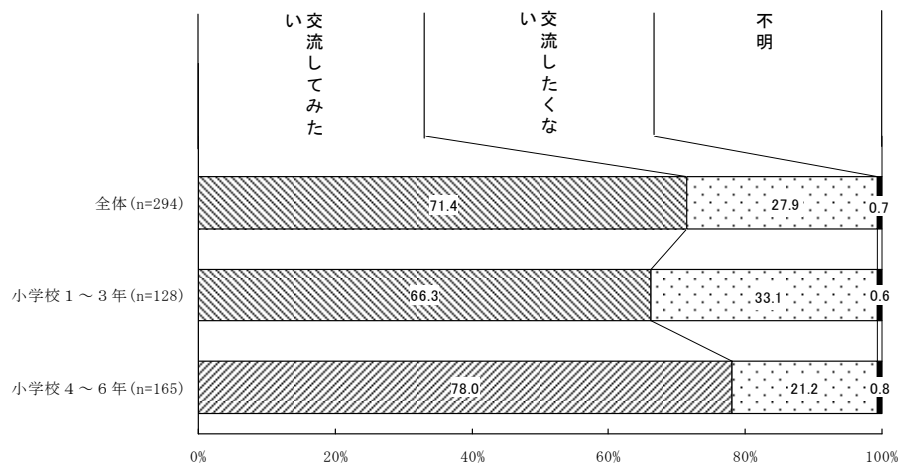
(8) インターネットは勉強に役立つと思うか (択一回答)

「役立つと思う」が64.6%となっている。



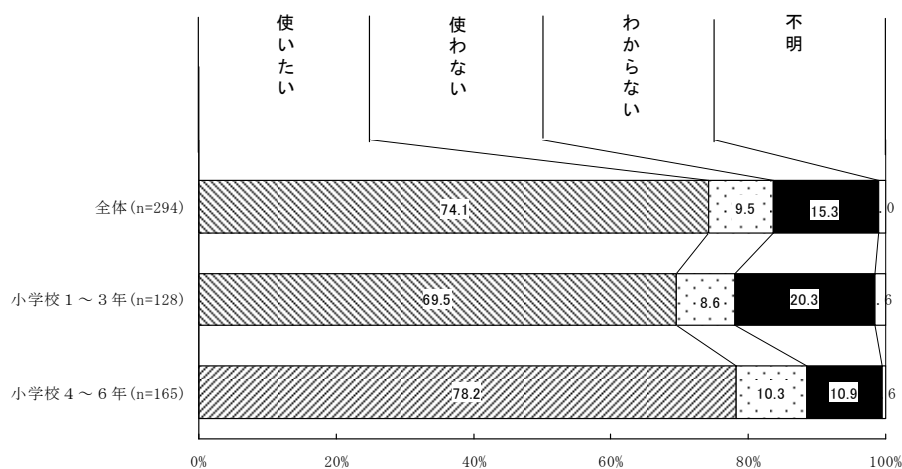
(9) インターネットを使った他校との交流をしてみたいか (択一回答)

「交流してみたい」が72.0%と、約7割を占めている。



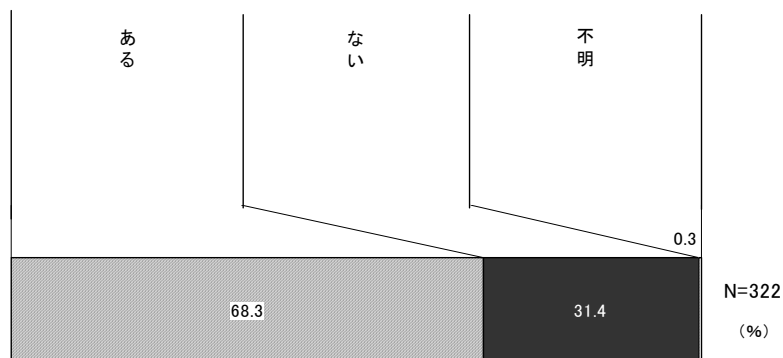
(10) 中学生、高校生、大人になったらインターネットを使いたいと思うか（択一回答）

「使いたい」が75.8%と、7割を占めている。



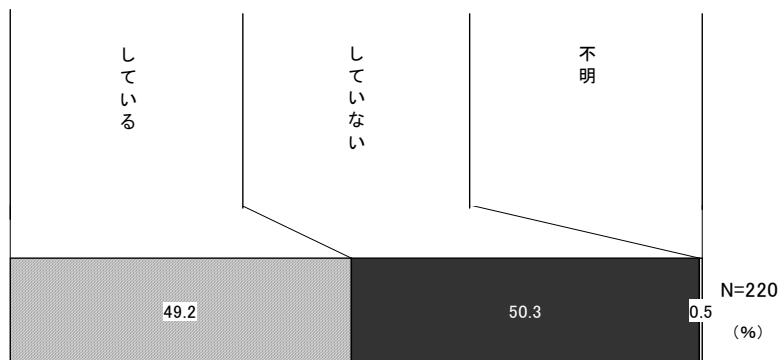
問2. 自宅にパソコンはあるか（択一回答）

「ある」が68.3%となっており、約7割を占める。



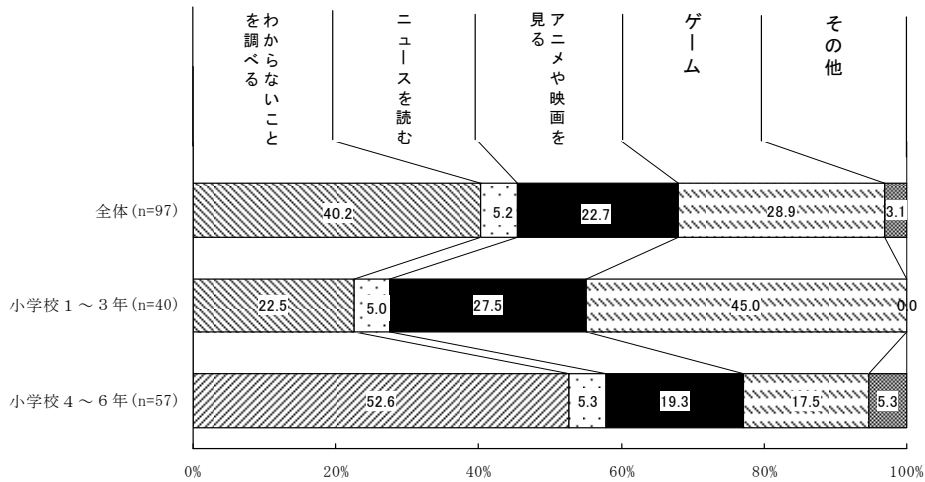
問3. 自宅でインターネットをしているか（択一回答）

「している」は、49.2%となっており、パソコンを所有している家庭の中でもパソコンを使用している割合は約半数となっている。



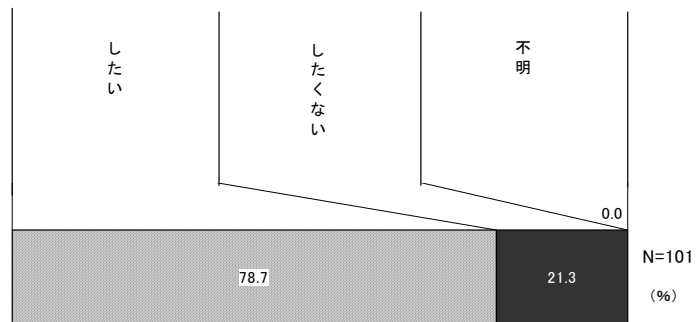
問4. インターネットを使って何をしているか（択一回答）

最も多いのが、「わからないことを調べる」（40.2%）となっており、次いで「ゲーム」（28.9%）、
「アニメや映画を見る」（22.7%）となっている。



問5. パソコンがあったら自宅でもインターネットをしたいか

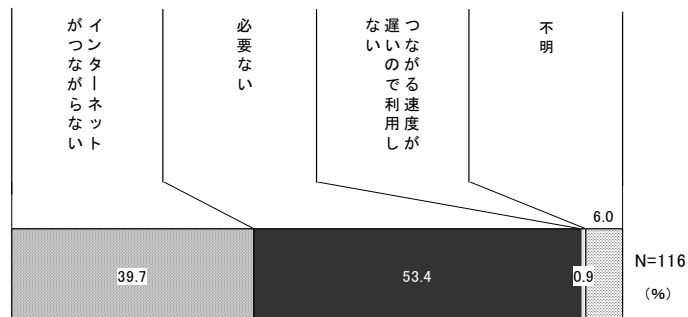
（問2で「ない」と答えた人へ）（択一回答）



問6. 自宅でインターネットを利用しない理由（問3で「していない」と答えた人へ）

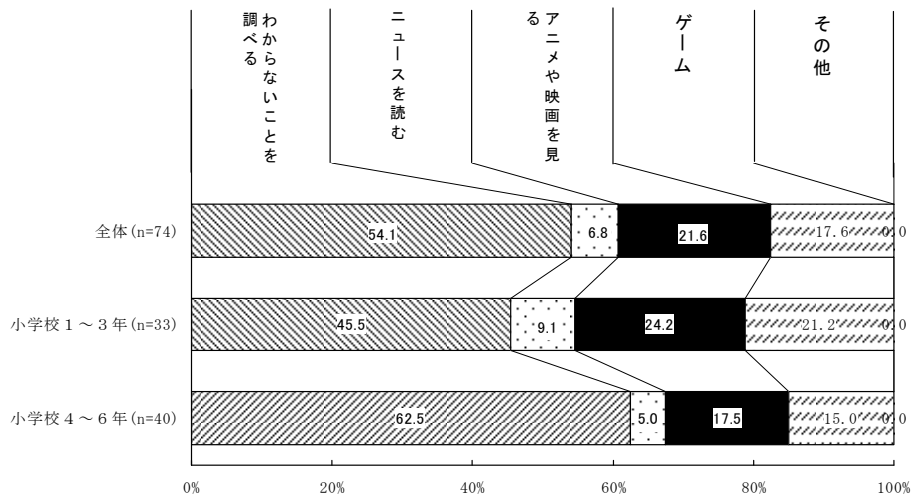
（択一回答）

最も多いのが「必要ない」（53.4%）となっており、次いで「インターネットが繋がらない」（39.7%）となっている。



問7. インターネットを使って何をしたいか（択一回答）

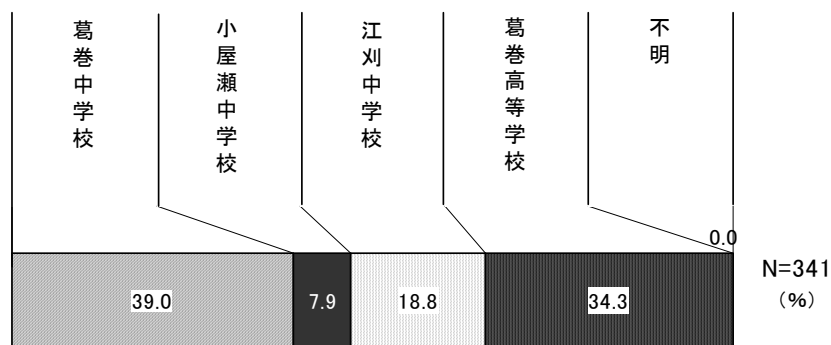
最も多いのが「わからないことを調べる」（54.1%）となっており、次いで「アニメや映画を見る」（21.6%）、「ゲーム」（17.6%）となっている。



【高校生ニーズ】

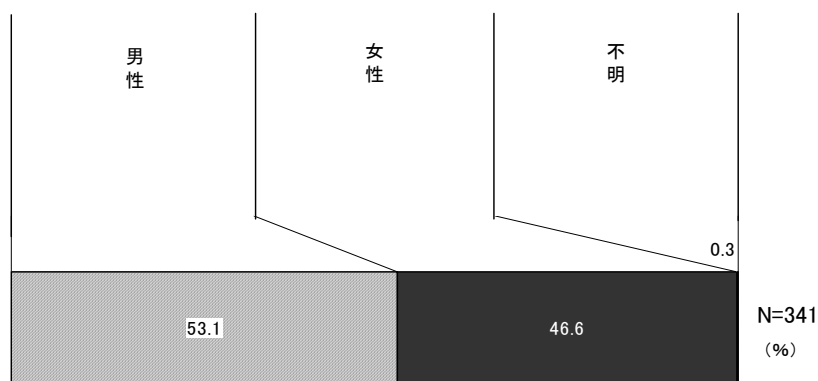
問1. 回答者の属性

(1) 学校名



(2) 性別

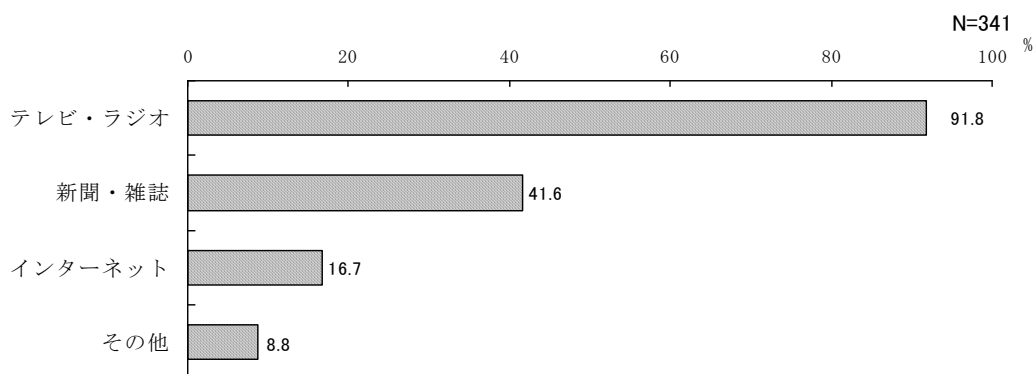
男女での大きい差は見られない。



問2. 情報通信環境の現状について

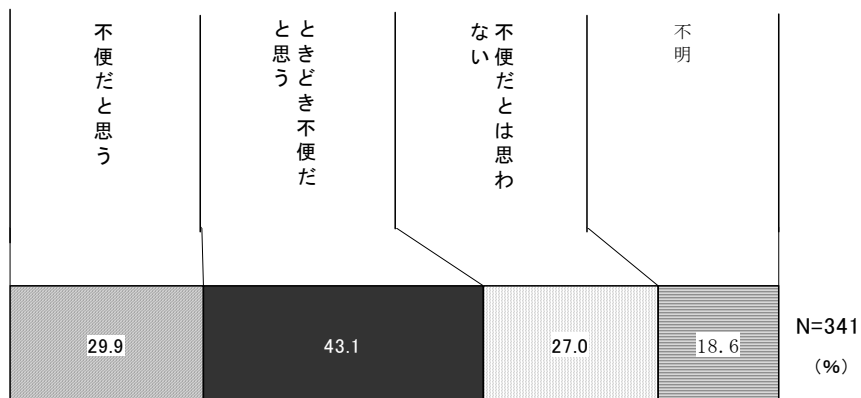
(1) 主な情報収集先 (複数回答)

最も多かったのが「テレビ・ラジオ」(91.8%)となっており、次いで「新聞・雑誌」(41.6%)が続いた。「インターネット」(16.7%)は、約2割弱にとどまった。



(2) 町内の情報通信について不便であると思うか (択一回答)

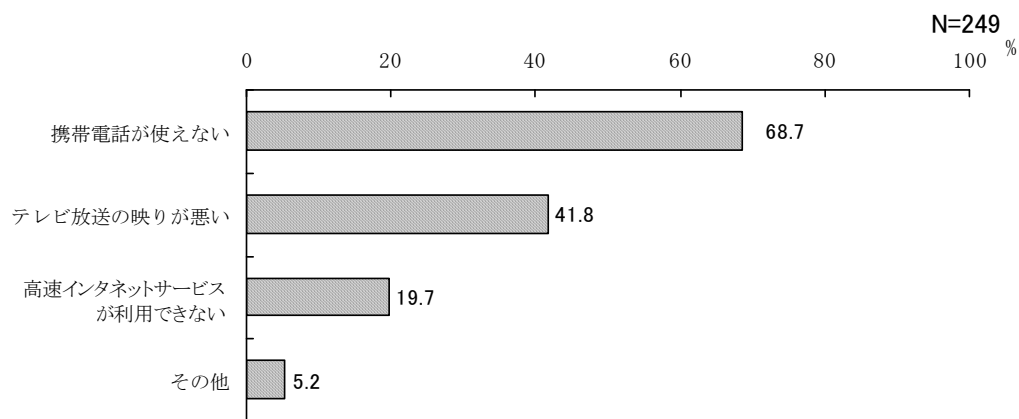
「ときどき不便だと思う」(43.1%)が最も多く、「不便だと思う」(29.9%)と合わせると不便を感じている割合が約7割となっている。



(3) どういった点が不便か

((2)で「不便だと思う」「ときどき不便だと思う」と答えた人へ) (複数回答)

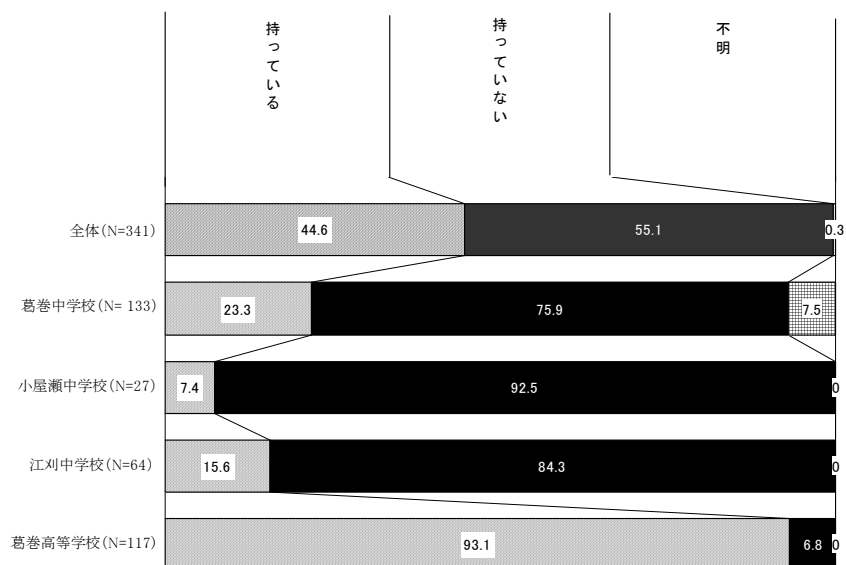
最も多かったのが「携帯電話が使えない」(68.7%)となっており、次いで「テレビ放送の映りが悪い」(41.8%)が続いている。「高速インターネットサービスが利用できない」については、約2割にとどまった。



問3. 携帯電話について

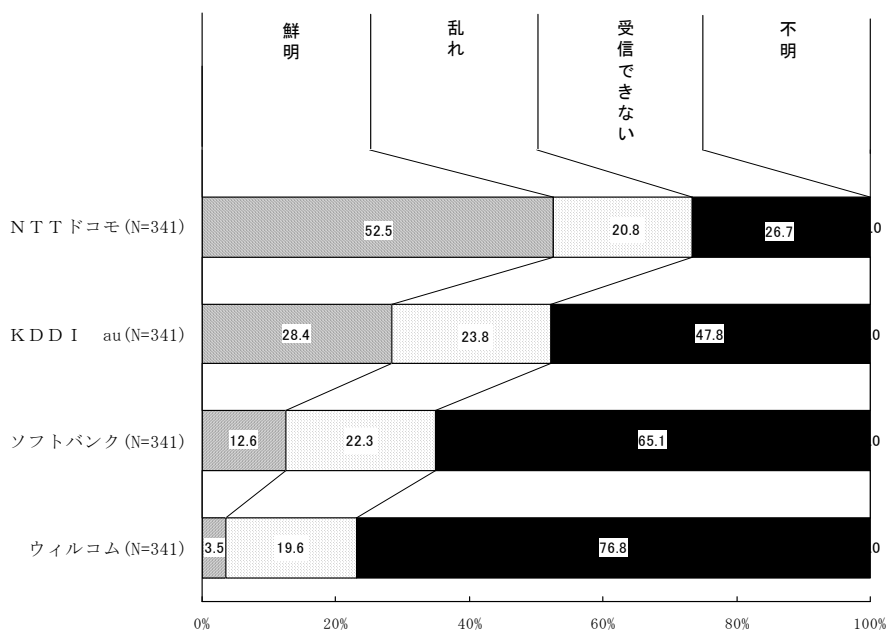
(1) 携帯電話を持っているか

生徒全体で見ると「もっている」が44.6%となっており、半分を下回っている。学校別で見ると、中学校では最も所有率が高いのが「葛巻中学校」(23.3%)となっており、「小屋瀬中学校」では1割に満たない。一方、高校生では「もっている」(93.1%)が9割を超えている。



(2) 自宅周辺での携帯電話の利用状況

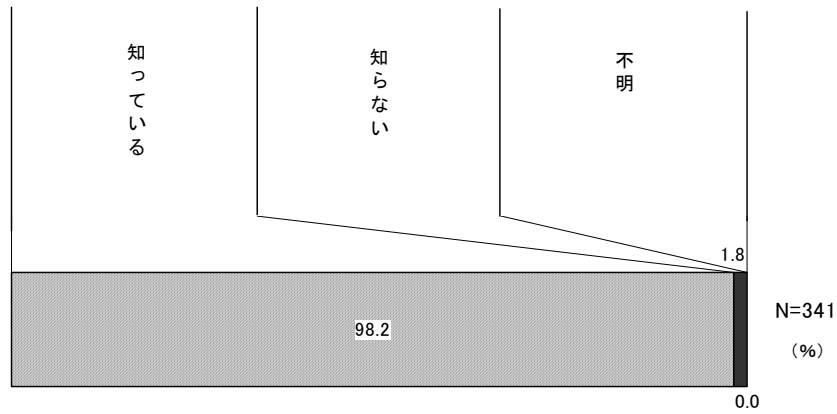
「NTTドコモ」で、「鮮明」(52.5%)と5割を超えた他は、「鮮明」に通話できる割合が5割を大きく下回っている。



問4. パソコン、インターネットについて

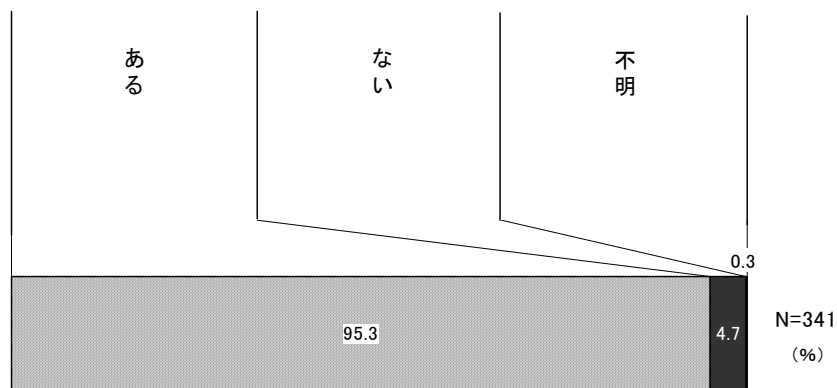
(1) インターネットを知っているか (択一回答)

「知っている」は98.2%となっており、ほとんどの生徒が知っている。



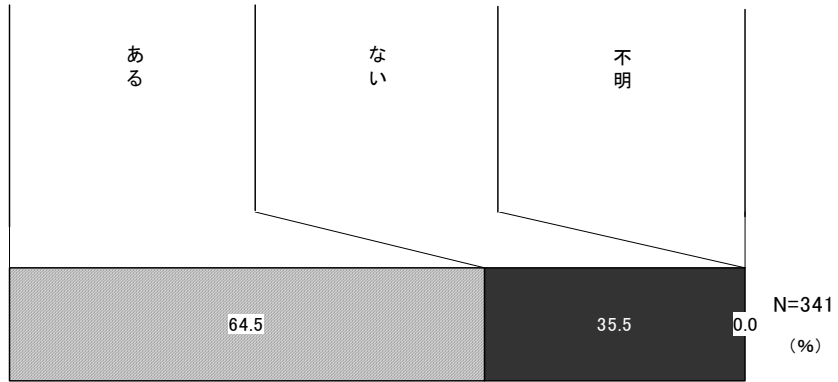
(2) 学校でインターネットをしたことがあるか (択一回答)

「ある」が95.3%となっており、インターネットの利用経験の割合が高い。



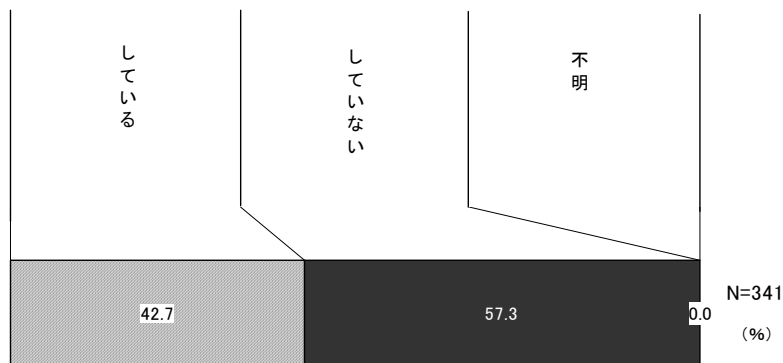
(3) 自宅にパソコンがあるか (択一回答)

「ある」が64.5%となっており、約6割の家庭でパソコンを所有している。



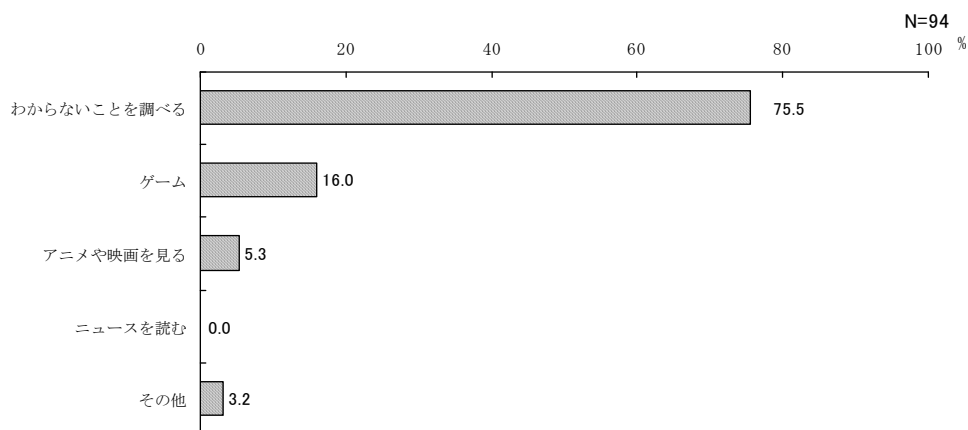
(4) 自宅でインターネットをしているか (択一回答)

「している」が42.7%となっており、問4 (3) で自宅にパソコンが「ある」(64.5%) に比べて、21.8ポイントの差がある。



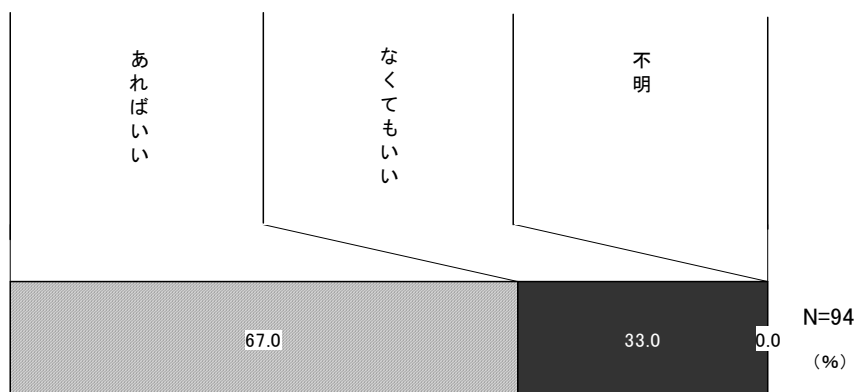
(5) インターネットを使って何をしているか (択一回答)

最も多かったのが「わからないことを調べる」(75.5%)となっており、その他「ゲーム」(15.0%)、「アニメや映画を見る」(5.3%)など、娯楽としての用途が続く。



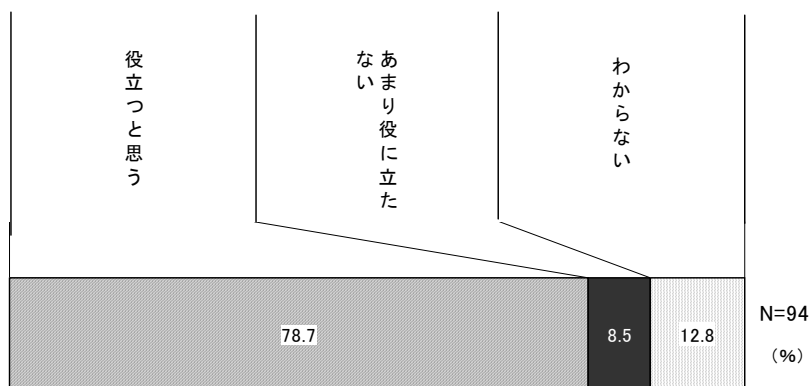
(6) 自宅、学校以外でもインターネットが出来る場所があればよいか (択一回答)

「あればいい」(67.0%)が過半数を超えている。



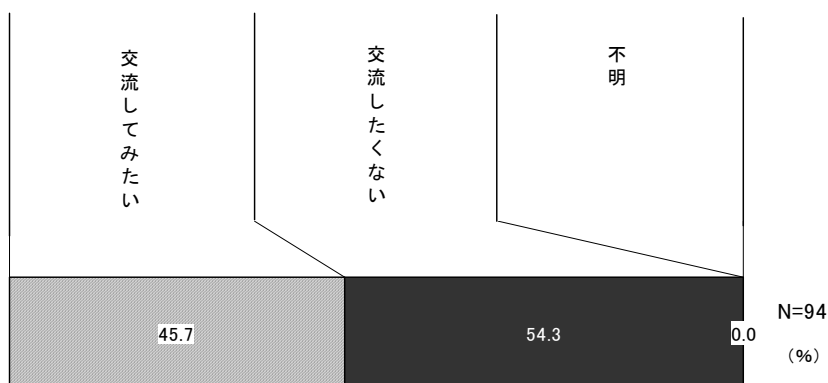
(7) インターネットは勉強に役立つと思うか (択一回答)

「役立つと思う」が約8割となっている。



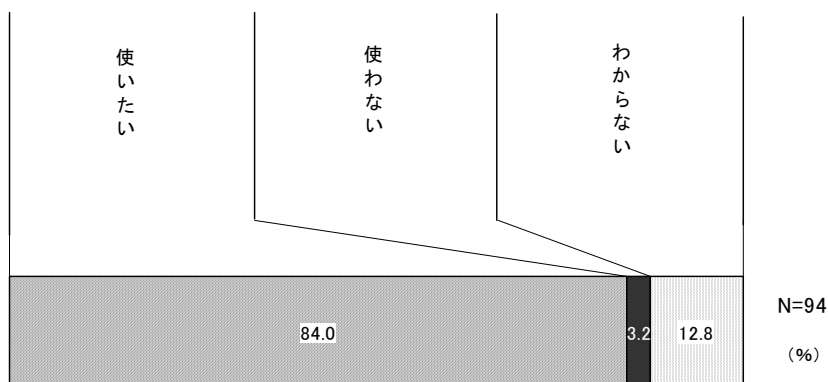
(8) インターネットを使って他の学校の生徒と交流してみたいか (択一回答)

「交流してみたい」(45.7%)、「交流したくない」(54.6%)が、ほぼ半々に分かれた。



(9) 大人になったらインターネットを使いたいと思うか (択一回答)

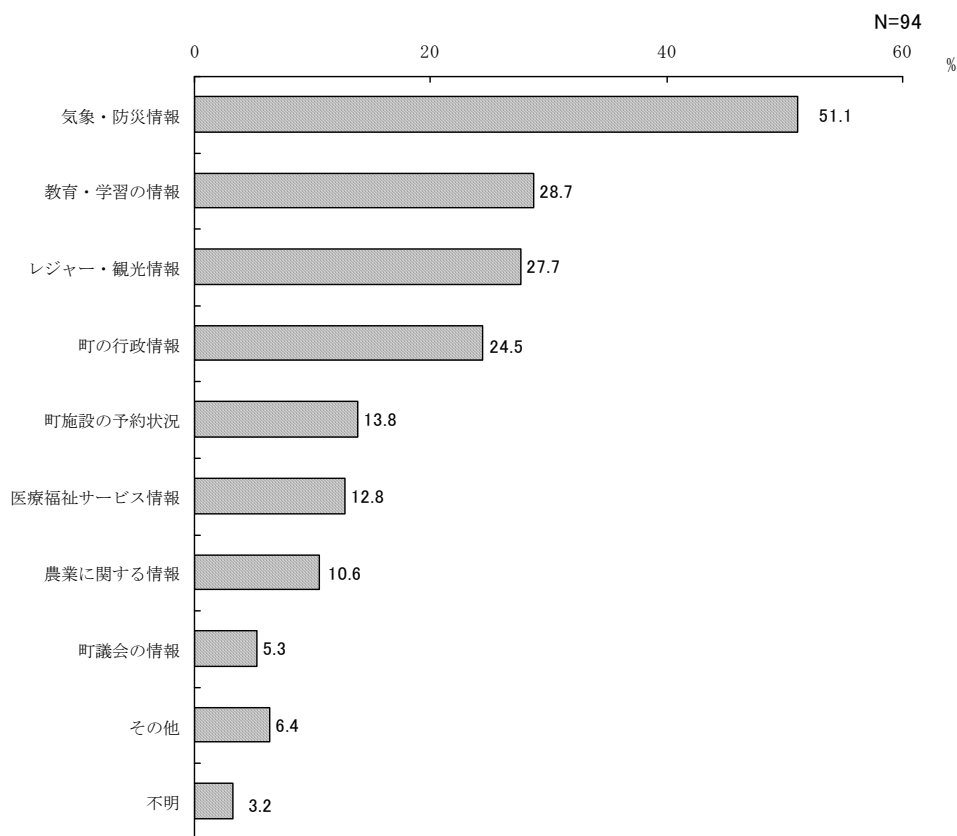
「使いたい」が84.0%となっており、約8割となっている。



(10) 役場からインターネットで提供してほしい情報（複数回答：3つまで）

最も多かったのが「気象・防災情報」（51.1%）となっており、次いで「教育・学習の情報」（28.7%）、「レジャー・観光情報」（27.7%）が続いている。

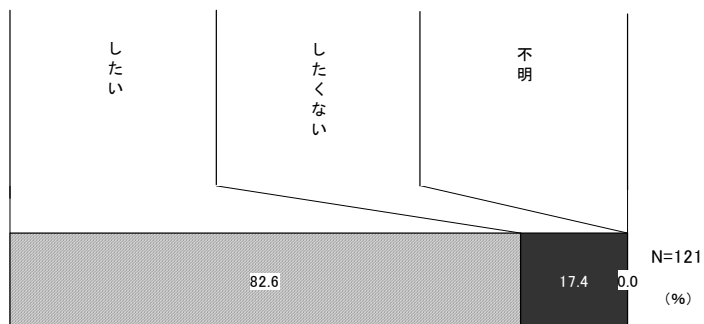
日常生活に身近な情報についてのニーズが高い。



問5. 自宅にパソコンがない方へ

パソコンがあれば、自宅でもインターネットを利用したいか（択一回答）

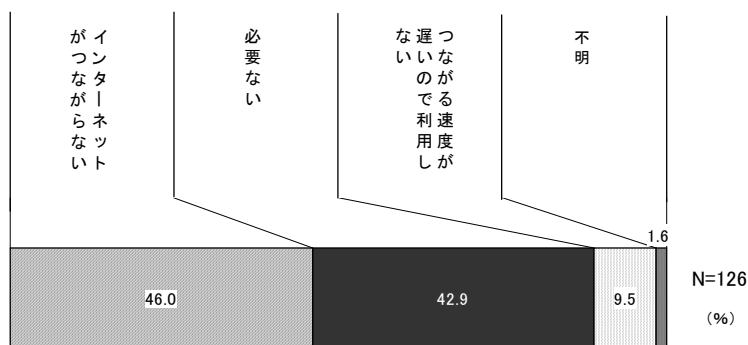
「使用したい」が82.6%と、約8割となっている。



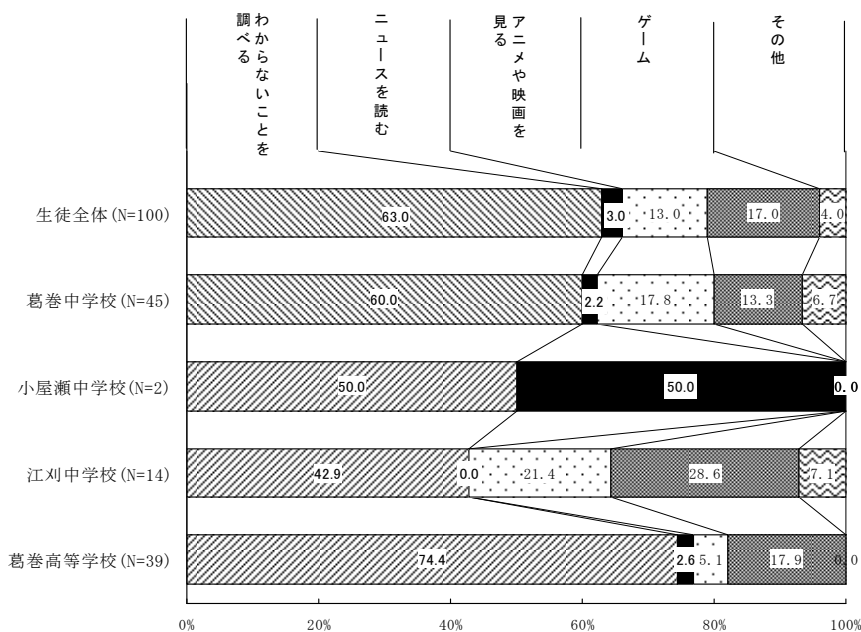
問6. 自宅でインターネットをしていない方へ

自宅でインターネットを利用しない理由（択一回答）

「インターネットが繋がらない」(46.0%)、「必要ない」(42.9%) となっており、物理的な理由と心理的な理由の大きく2つに分かれる。



問7. インターネットを使ってほしいこと（択一回答）



問8. 町の情報化について

町の情報化に期待すること（複数回答）

最も多かったのが「通話エリアの拡大」（70.4%）となっており、次いで「地上デジタル放送」（55.1%）、「高速インターネットサービス環境」（34.6%）が続いている。また、「スポーツ・文化などの情報提供」（32.8%）などのレジャー・文化活動に関わる情報提供、その他「学校内におけるインターネット・構内ネットワーク構築」（27.9%）、「町民開放用のパソコン設置」（25.5%）などの情報環境整備に関するニーズが上位にきている。

